

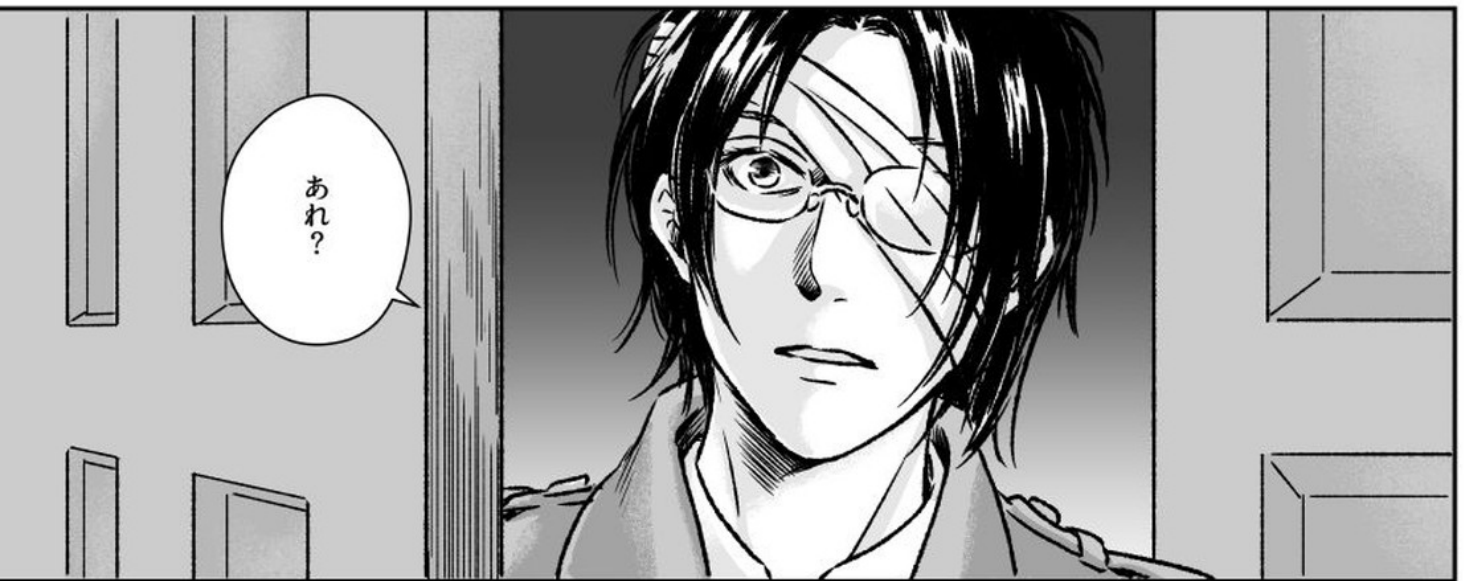
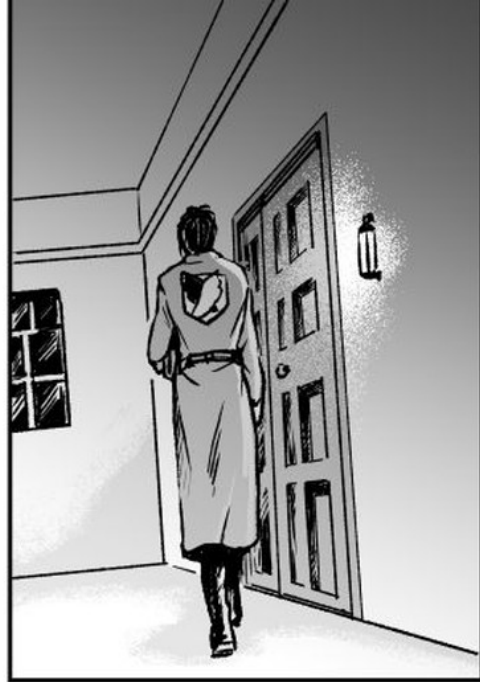


鍵

の
な
い

檻

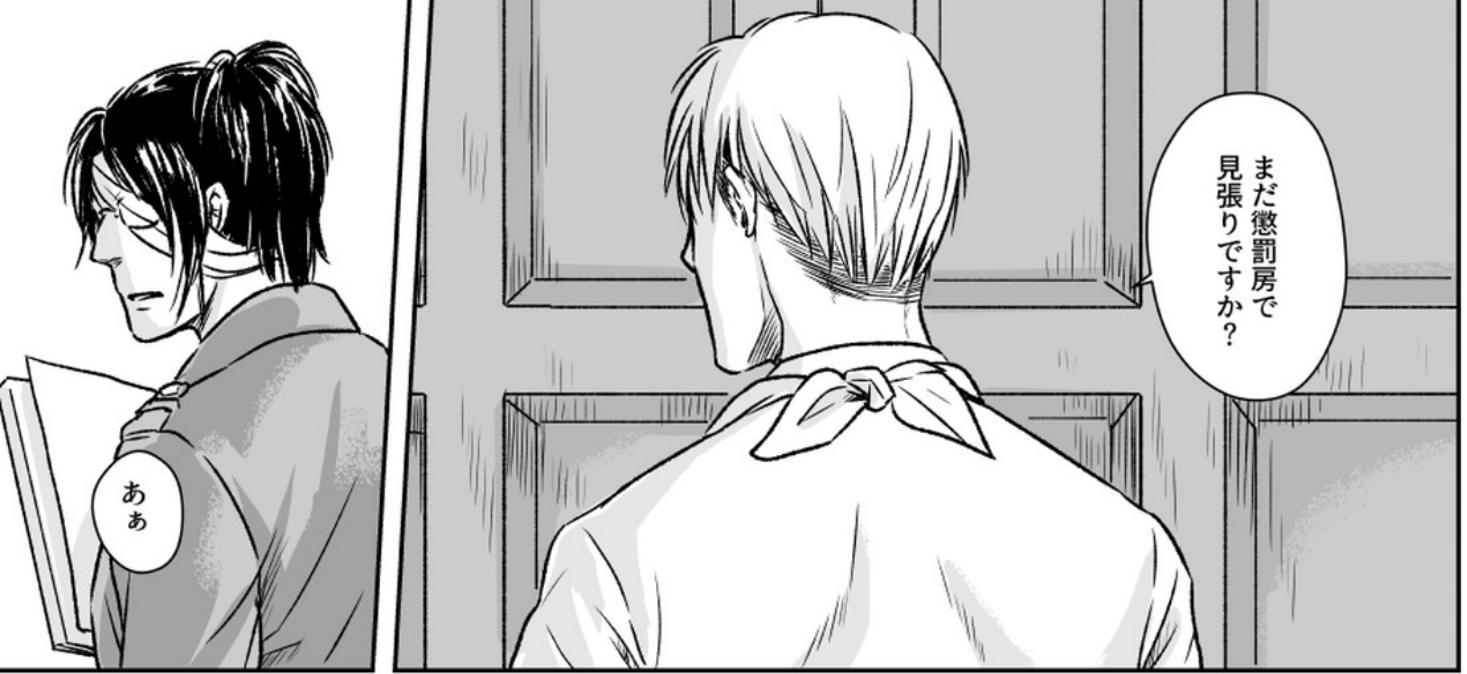
R18 adult only











まだ懲罰房で見張りですか？

ああ



エレンの「記憶」がどうやら全て繋がったようなんだ

彼に話を聞いてもらってる

まだ少しエレン本人に混乱が見られるから…落ち着かせて話を聞き出すなら昔馴染みの方が適役だろうしそっちは任せてる



イエーガー氏の手記とも照らし合わせてわかりやすくまとめてくれたよ

どうせ近々の報告会議で知ることにはなるけど

……読む？



シガンシナ区から
帰還して

アルミンは懲罰房で
形ばかりの見張り役を
引き受けている

一度も自室には
戻って来ていない



ご両親が？



そろそろ
トロスト区に
戻りたいんだと

うちは一応伝手が
あったからローゼの
内地に仮住まい
してたんだが…

突出区画に比べれば
安全とはいえ
生活基盤がない
人間にはやっぱり
長期の生活は
難しいってさ



それだけじゃ
ないんじゃない
かな…

きっとジャンの顔が
見たいんだと思うよ
全然会いに行っ
てないんだろ？



仕送りしてる
って言ってたよね？

…たぶん
使ってないん
だと思う



いつ戻って
来るの？

…奪還作戦の
前には
帰りたいって



そうか…

まだトロスト区の
治安は安定してる
とは言いがたいから
もう少し待っては
手紙に書いたんだが…



それは…
ついこの前手紙で
知ったんだよ

…ハナから
息子の忠告なんて
聞く気ねえんだ
あのババア…

でも今は奪還作戦の
準備で兵士の出入りは
特に多いし…
そこまで心配しなくても
大丈夫なんじゃないかな

たまに戻って
来てるんだっつたら…
それこそ会いに行ったら
よかったのに

たまに戻って来て
準備だけはしてたらしい
荷物の運び込みだの
家の修繕だの…

あれ以来ずっと放置
だったからな
空き巣にも入られてた
みてえだし



あ先週の半休
いなかったのは
それだったの？

まあ見回りも
兼ねてな
せつかく直したのに
荒らされちゃ
たまねえし

親はまだ戻って
来てねえから
□うるさいことは
言われねえし
集団生活からたまに
離れたい時なんか
ちようどいい



まあ…

兵舎から近い
自宅が使える状態は
ありがたいけどな



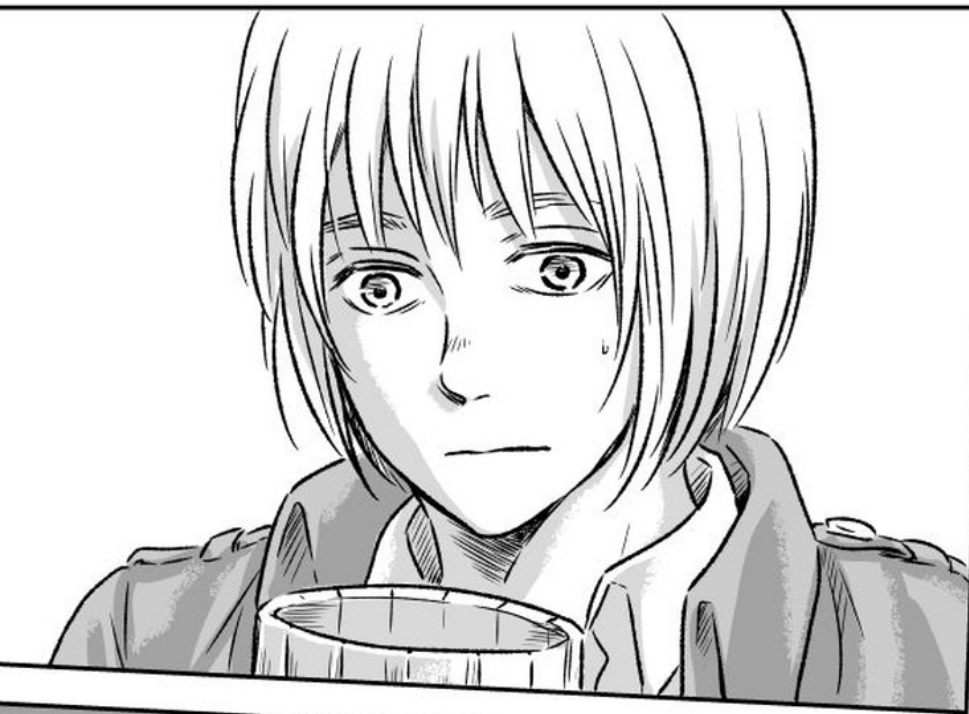
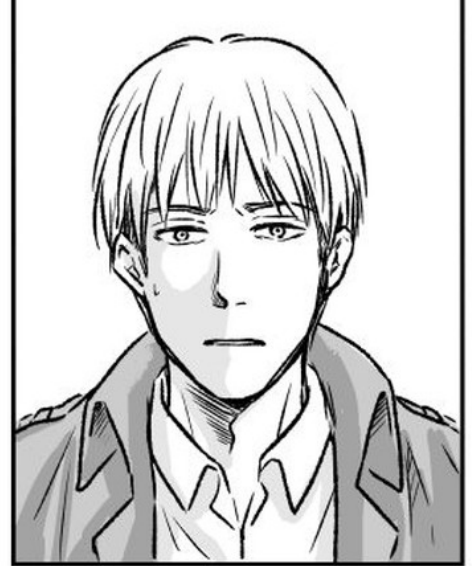
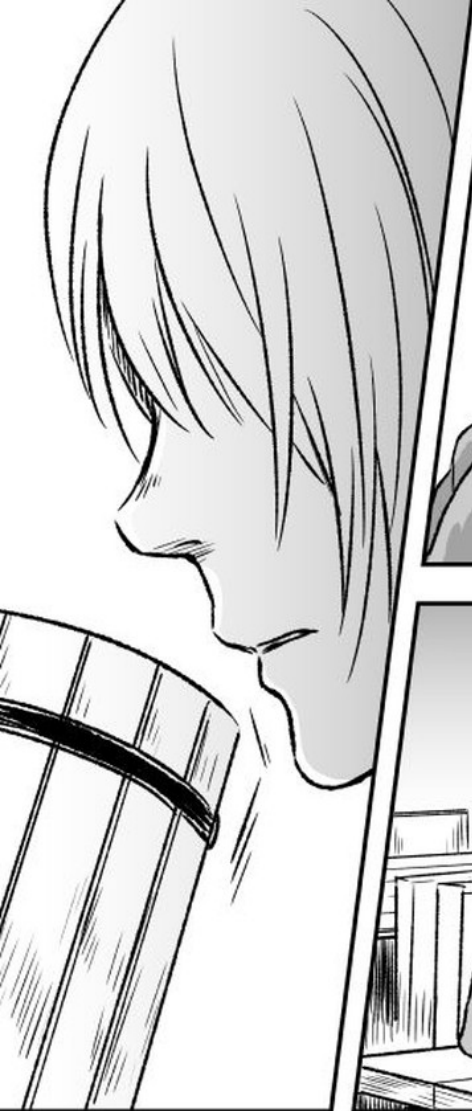
……本当に
来んのか？

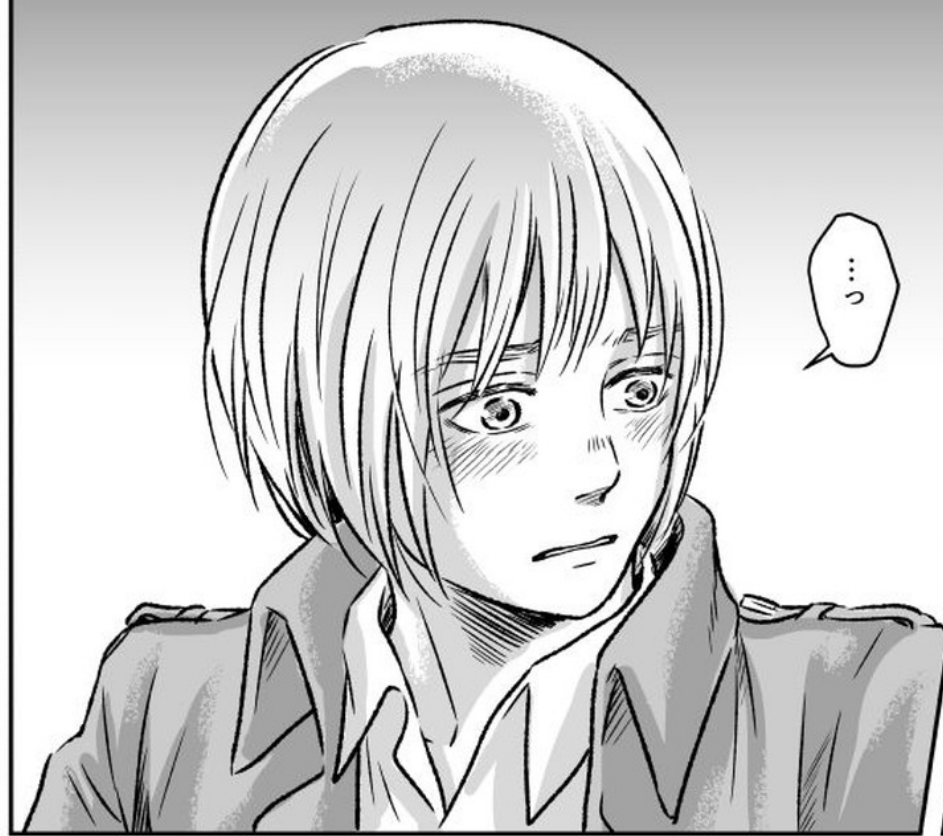
え…
だって今ジャンが
言ったんじゃないか



今度の調整日
空いてんだっつたら
一緒に来るか？

うん行く





…っ



ごまかすなよ
お前すぐ顔に
出るんだよ



……



察しはついてて
なんでその
タイミングで
赤面なんだ…

ワテンポ
遅いだろ…

っつか

やっぱこの
様子だと
まだちよっと…



…ごまかさないでよ
冗談言ってる顔
じゃなかったよ…

…それくらい
わかった



そんな固まんな
冗談だよ

て言うか
さぐりか

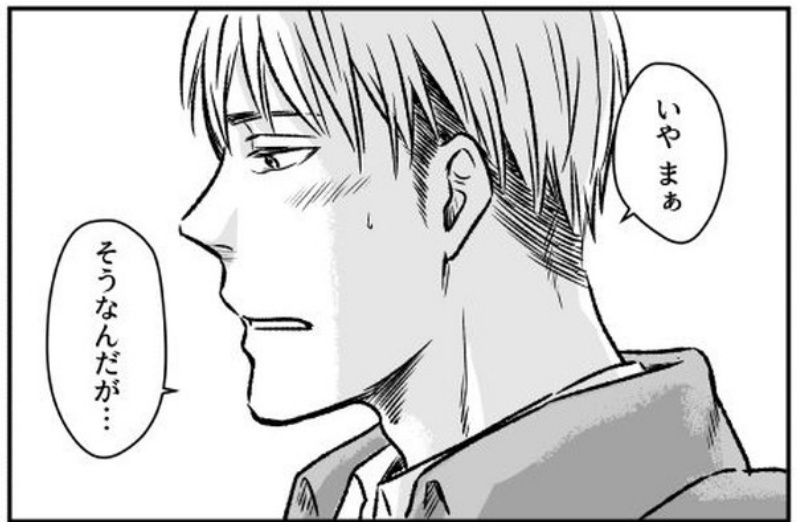
あんまりマジに

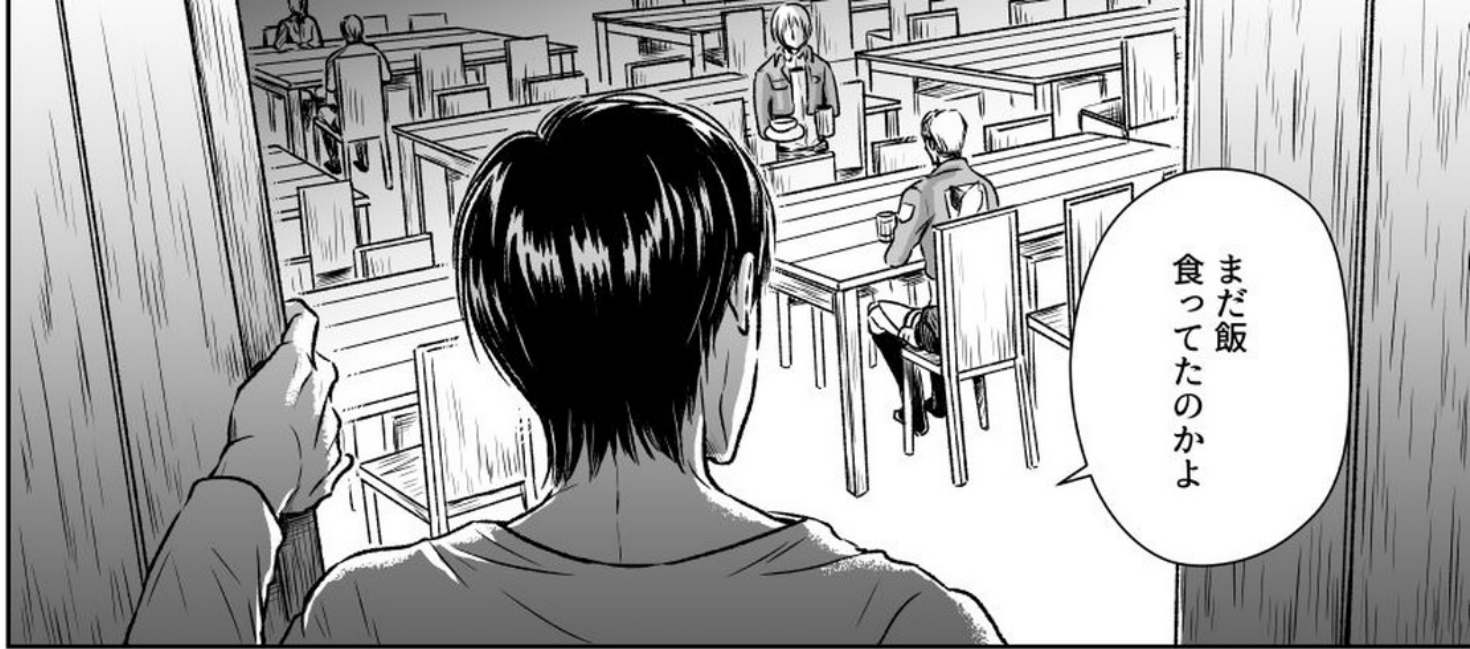
…ジャンこそ



というか
そういう…
誘いだって
バラしちゃう
んだ…?

いやバラすっつか…
お前があんまり普通に
返事してるからだろ
全く察しついてねえのか
こいつ大丈夫かって
そりや思うだろ…





まだ飯
食ってたのかよ



そういえば
夜間順路開拓も
今日からだったよな

うん



そろそろ
哨戒に出る
時間だろ

大丈夫だよ
今行くところだった
準備はもうできてるし



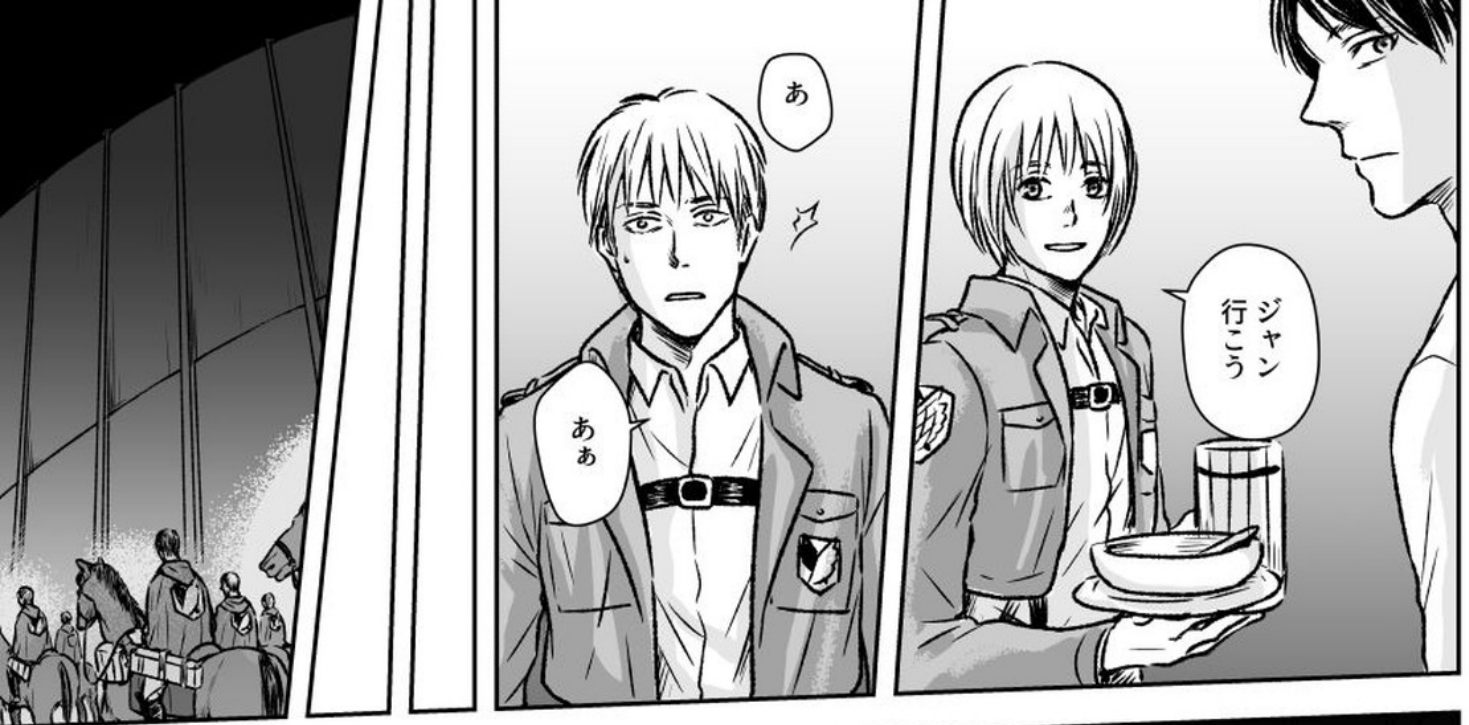
どっちにしてもエレンは
巨人化の訓練が最優先だし
今日の昼間だって連続して
硬化実験したんだろ？
ゆっくり休んでよ

ああ



シガンシナ区
近辺まで到達したら
土地勘のある出身者を
編成に加えることも
あんのかな…

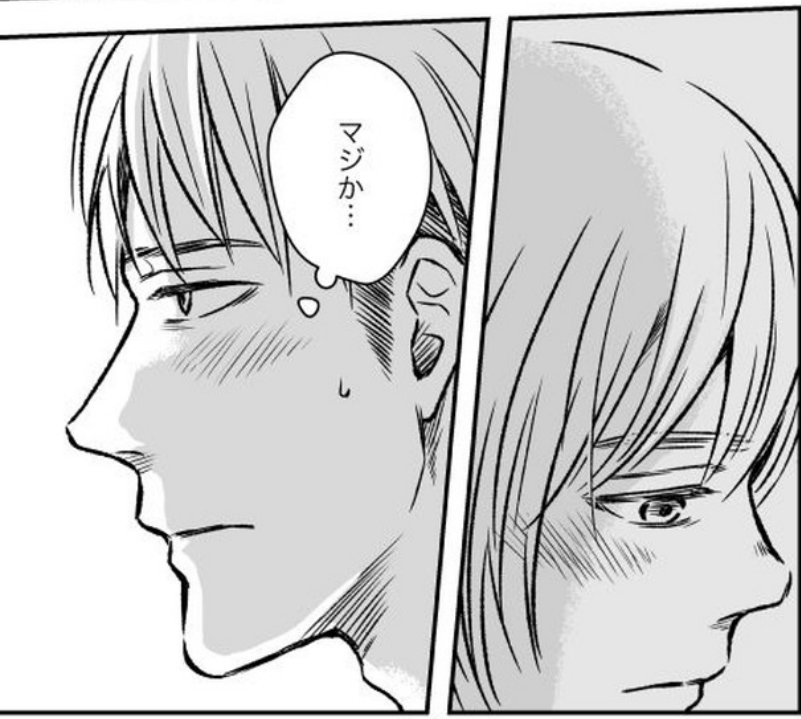
ああハンジさんから
聞いたけど5年前まで
担当区域だった駐屯兵の人が
編入組にいるんだって
だから僕らは今のところは
外される予定みたい



あ

ああ

ジャン
行こう



マジか…



……

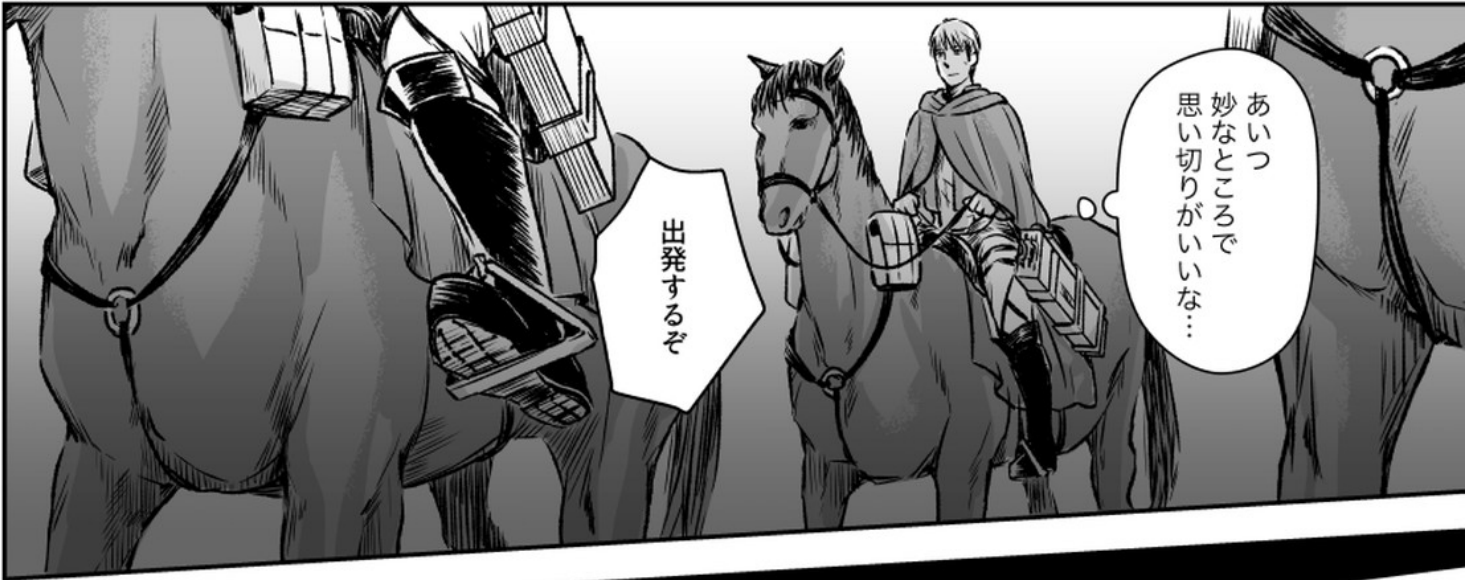
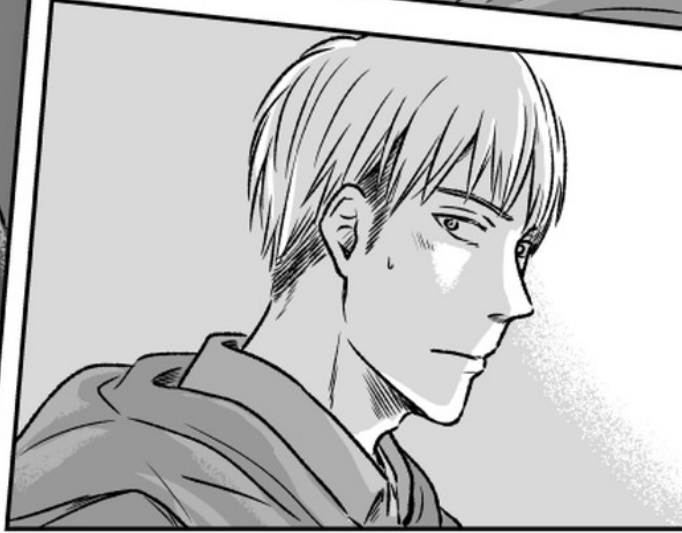
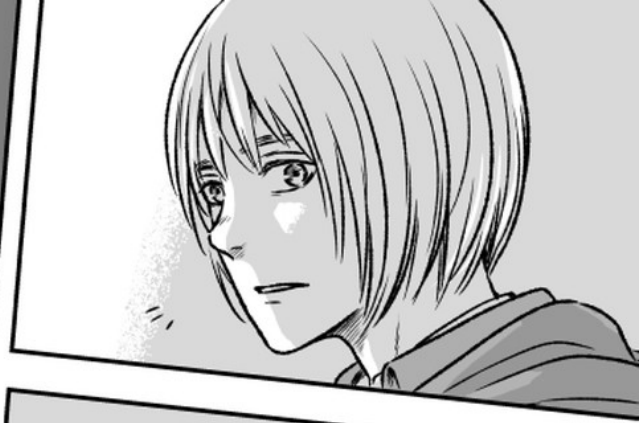
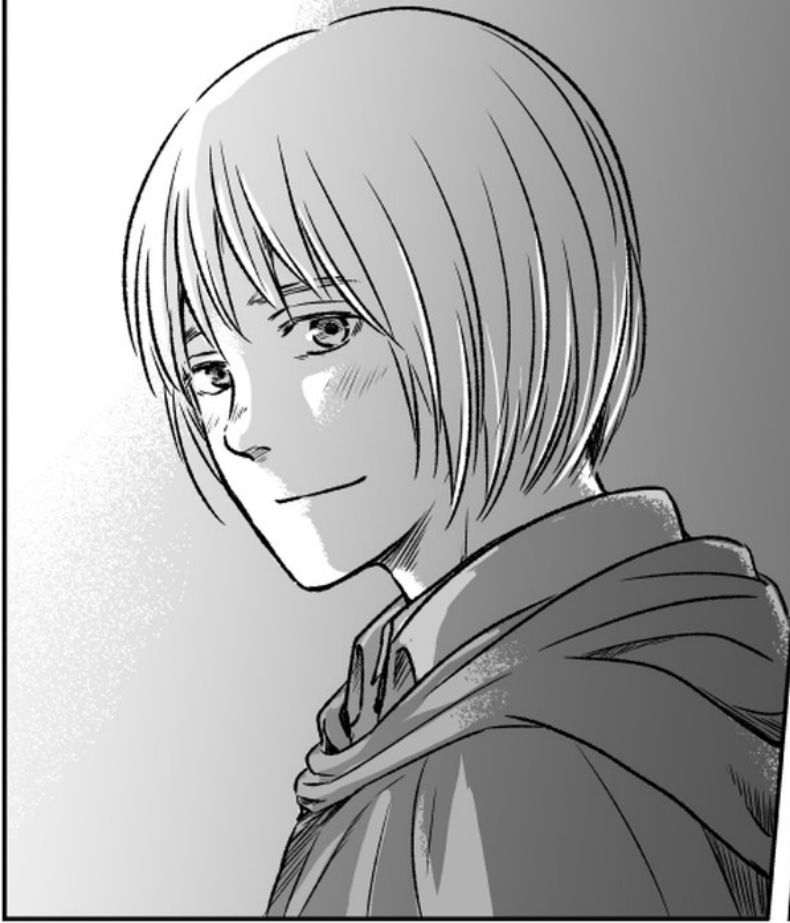
…マジかよ

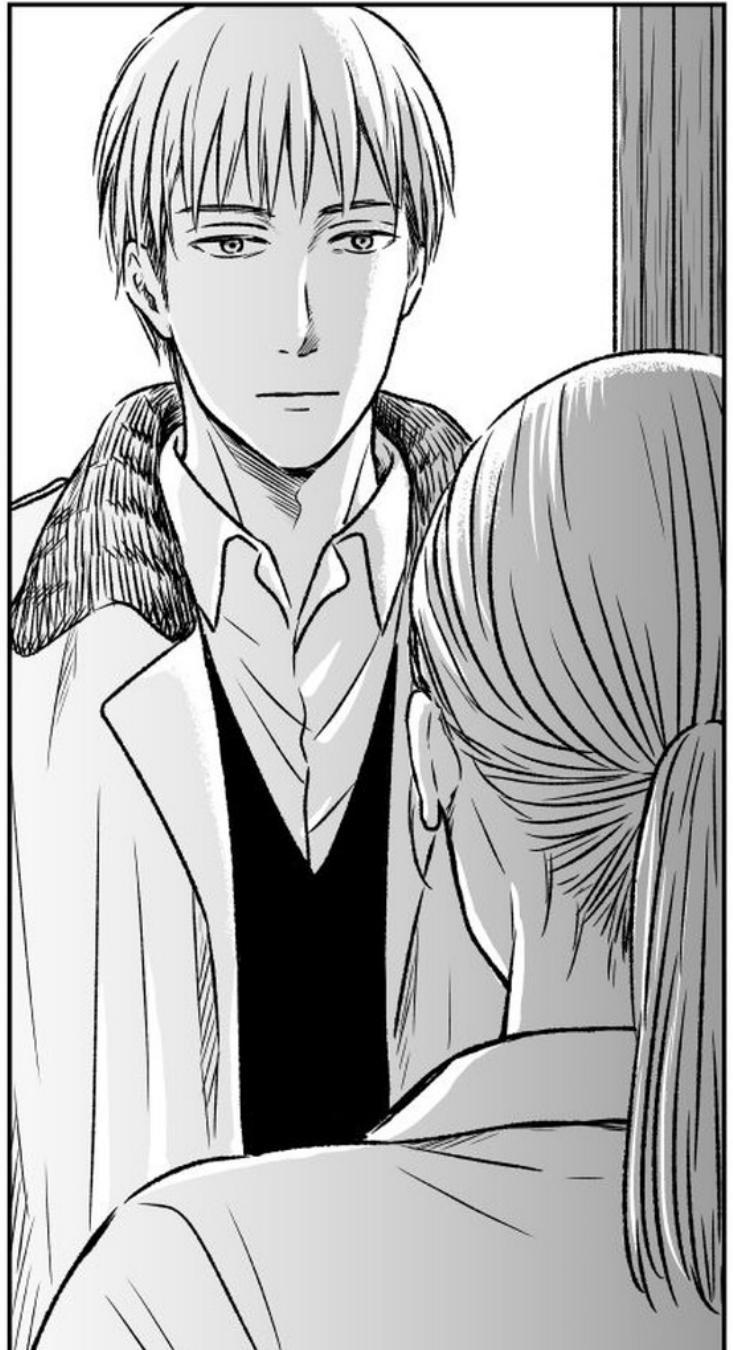
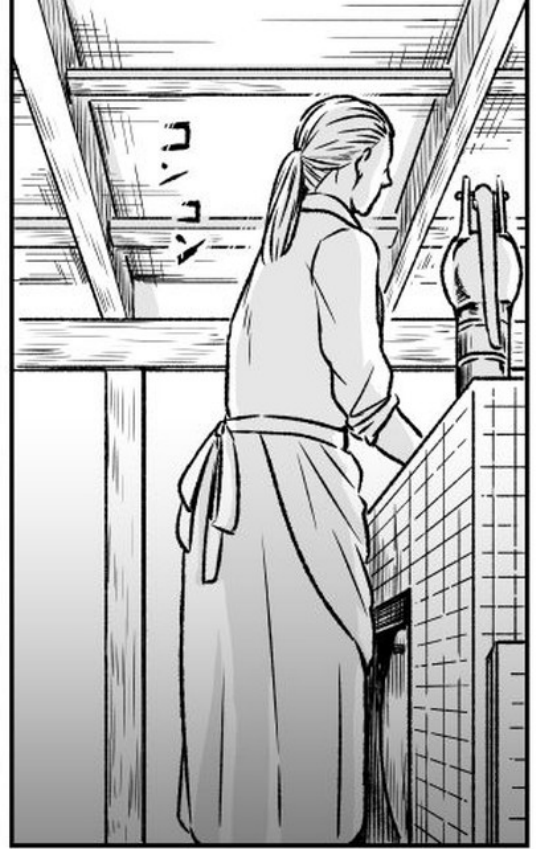
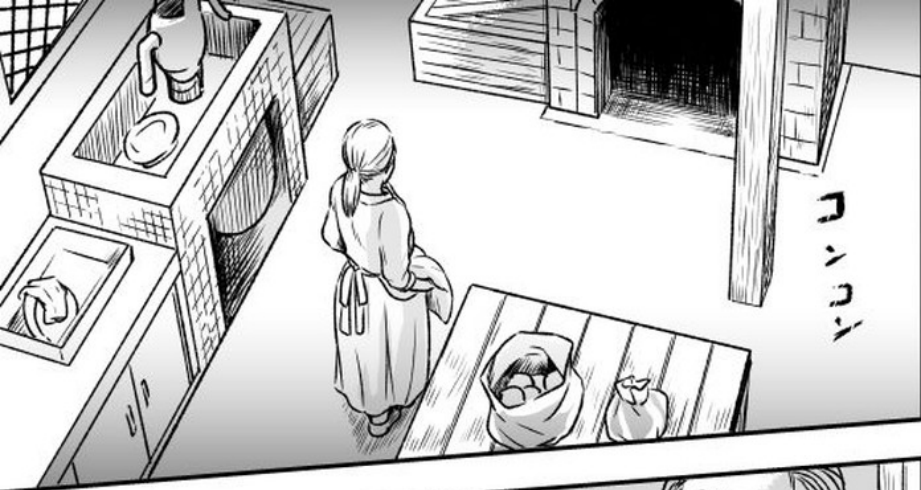


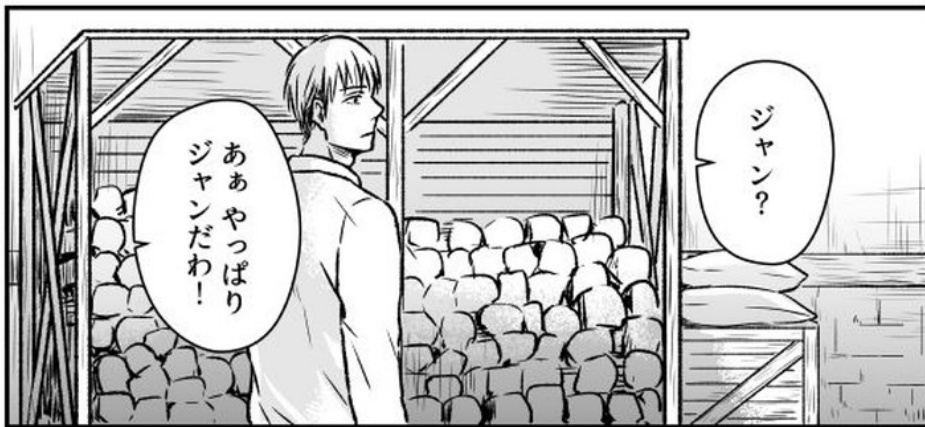
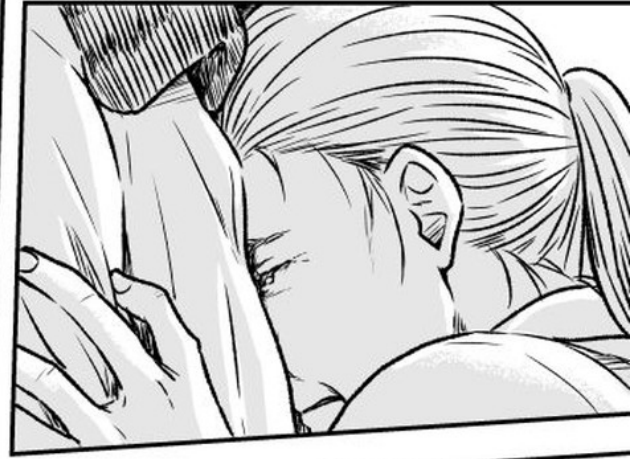
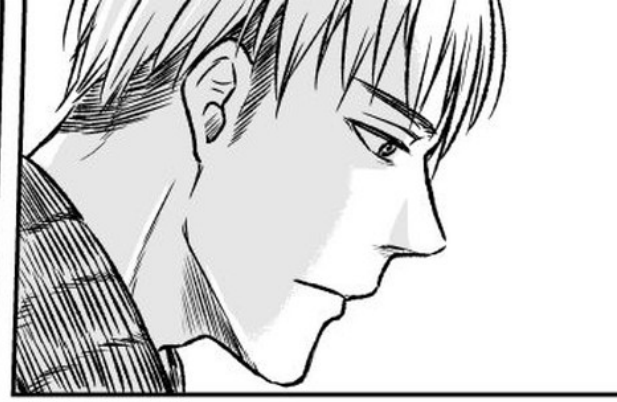
喜ぶべきところ
なんだろうが…
正直本当に
さぐりの方が
大きかった…

一応言うだけ
言っておいて
…反応見てもからまあ
おいおい…くらいの…

もっと
渋るか…









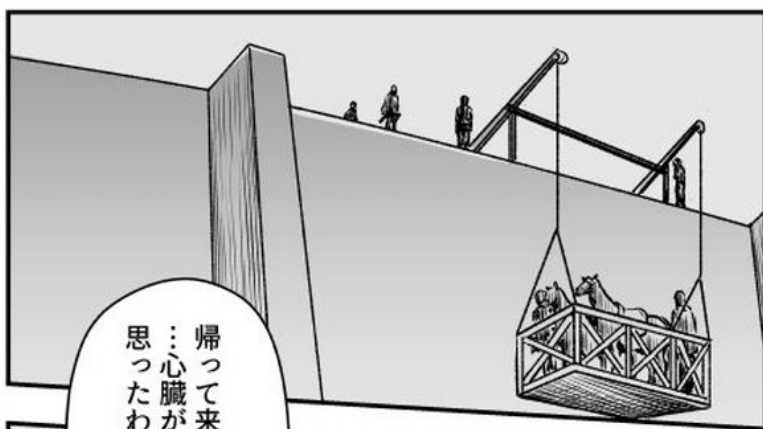
…調査兵団に…
入ったんですってね

実は私 奪還作戦の
見送りも出迎えも
行ったのよ
あなたのお父さんも
お母さんも…



でも一目見たら
そのまま帰ろうとして…
声かけなくていいの？
って聞いたら…

生きてる
だけでいいって



帰って来た人数を見て
…心臓が潰れるかと
思ったわ…



ねえ…忙しいとは
思うけど…もっと
顔見せに帰って来て
あげてね

…あなたにも何か…
思うところも
あるのかも
しれないけど…



その中に…
あなたの顔を見つけた時の
キルシュタインさんの顔は
忘れられない



…はい





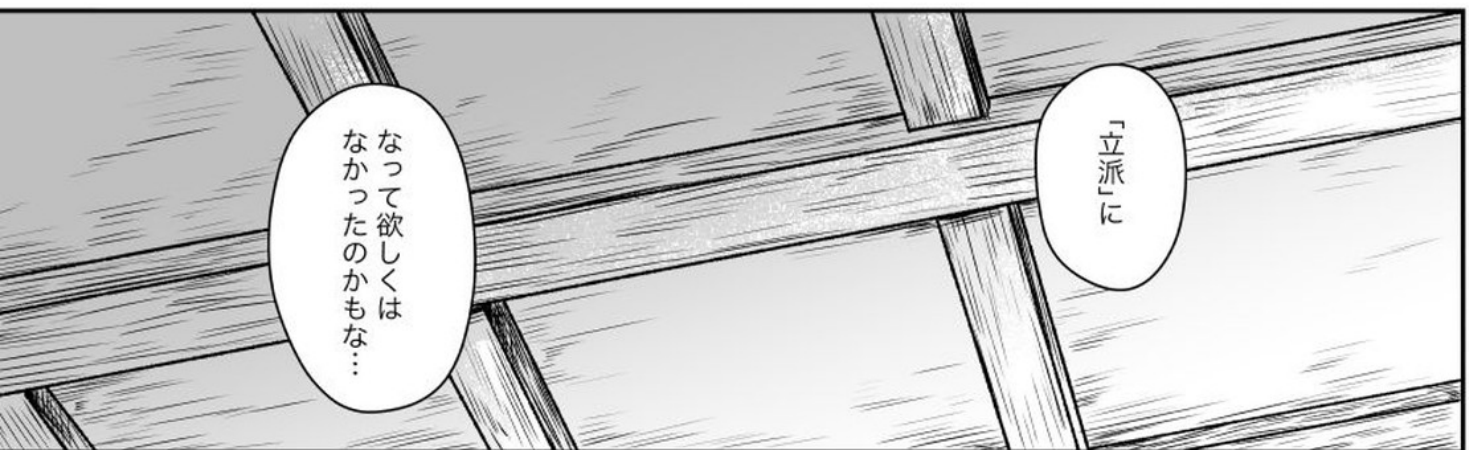


ちょっと痩せたな

前はもっと丸々してたのによ



はあ…



「立派」に

なって欲しくはなかつたのかもな…

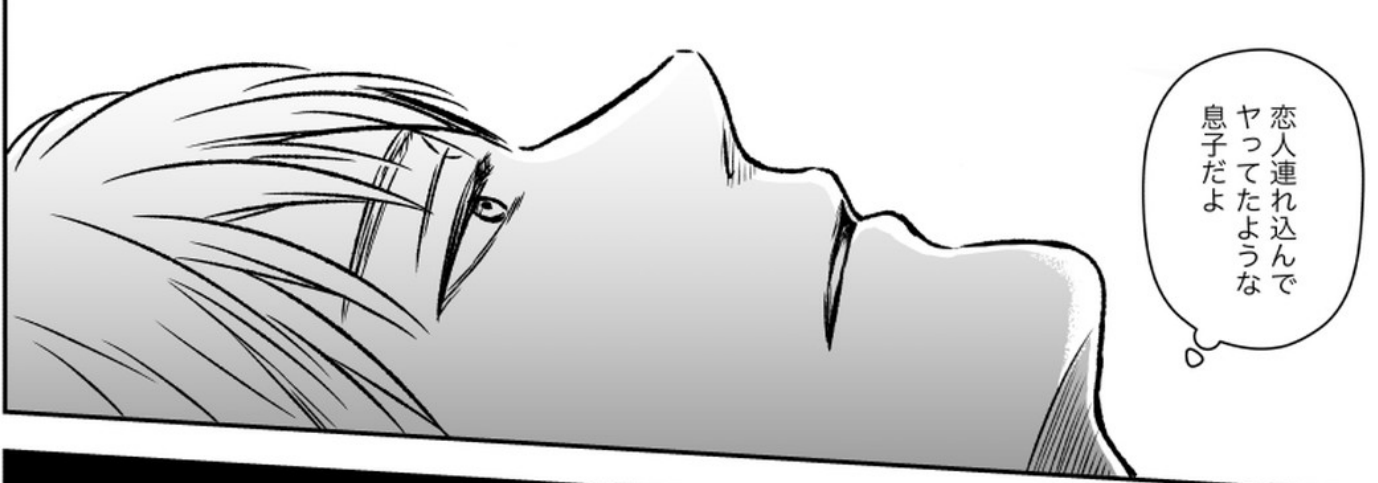


けどま…そんな立派でもねえけどな

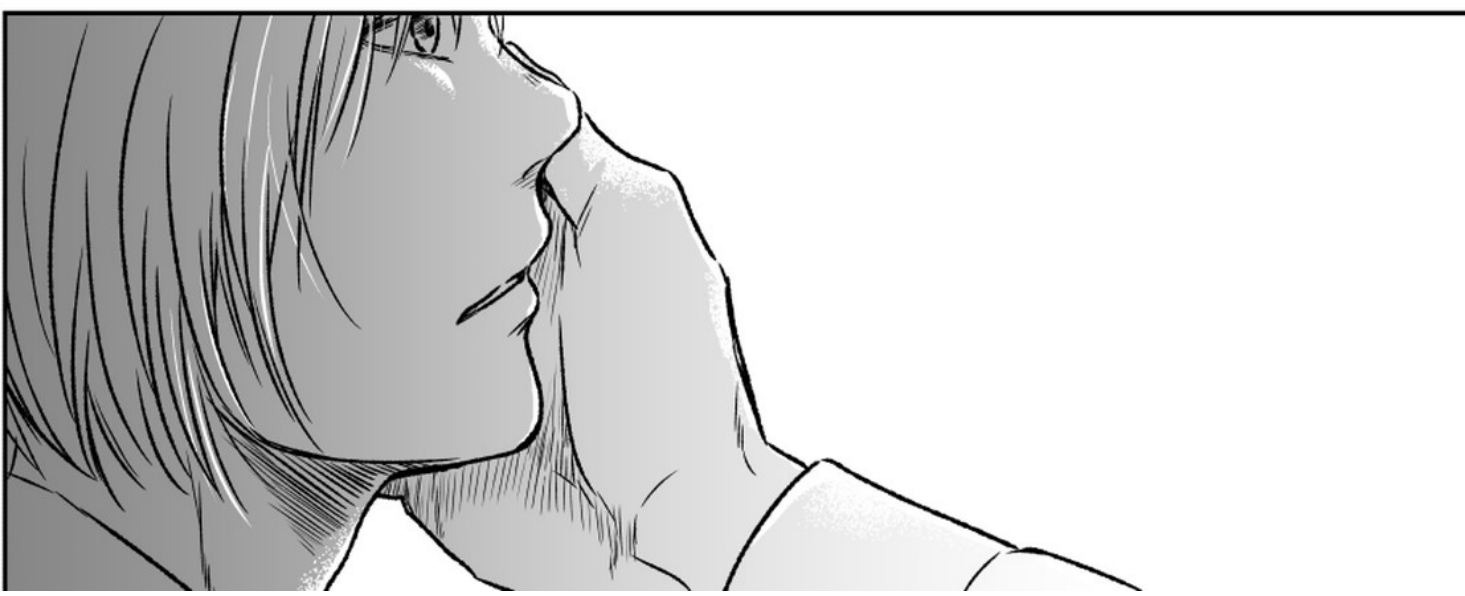


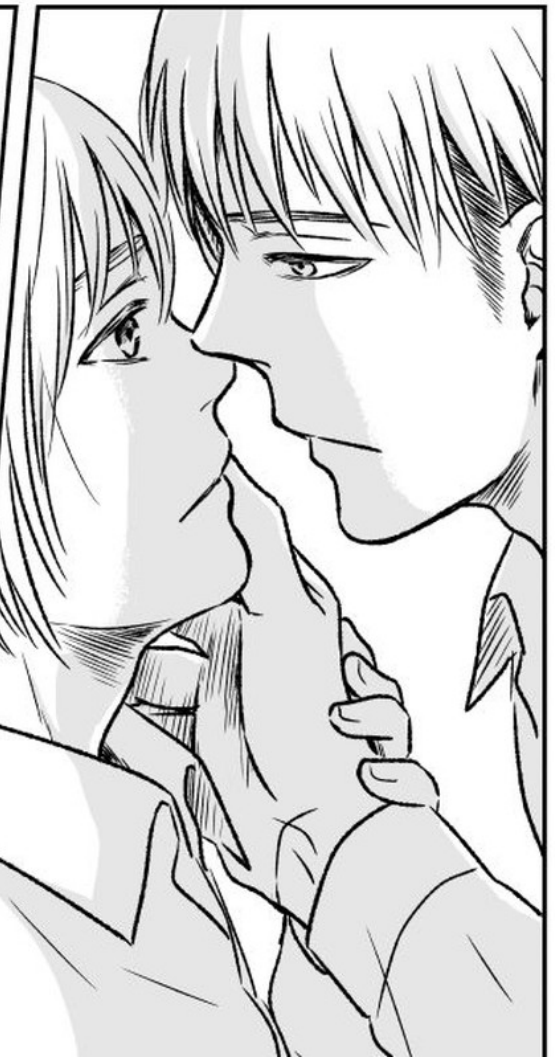
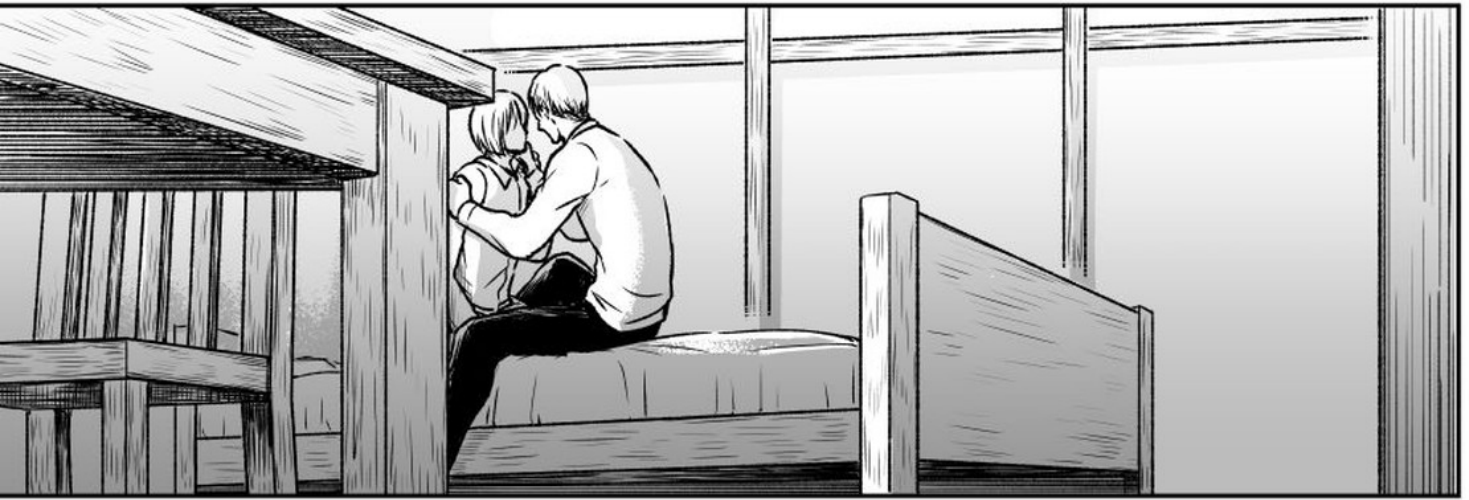
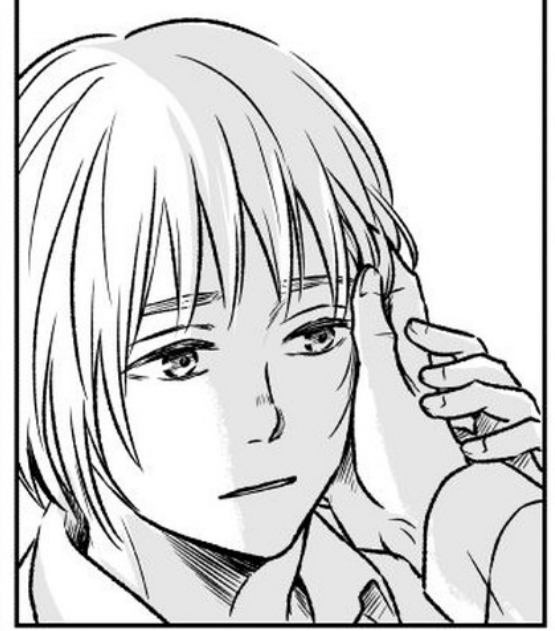
こんな親不孝者でも…

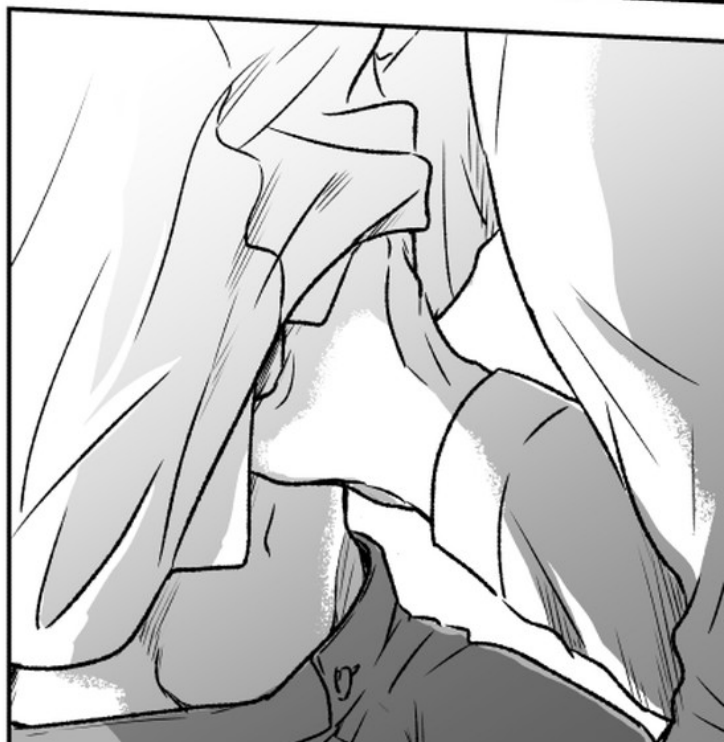
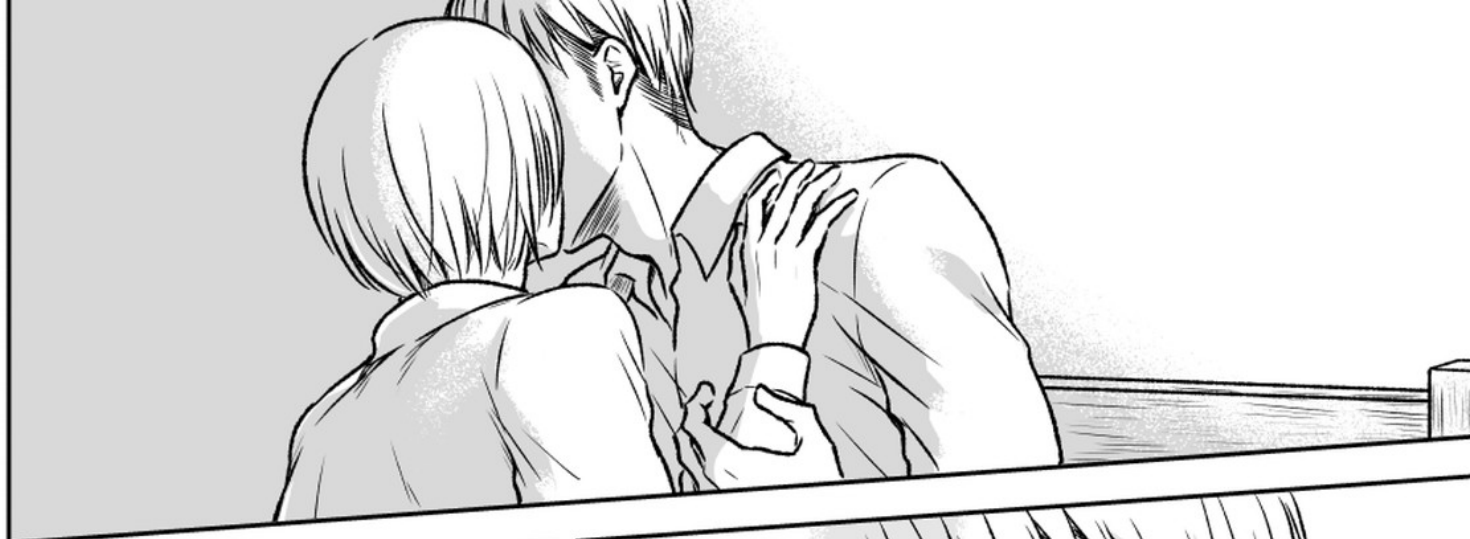
側にいてえつつうんでわざわざ戻って来てはこまめに親が引越し準備してた家に



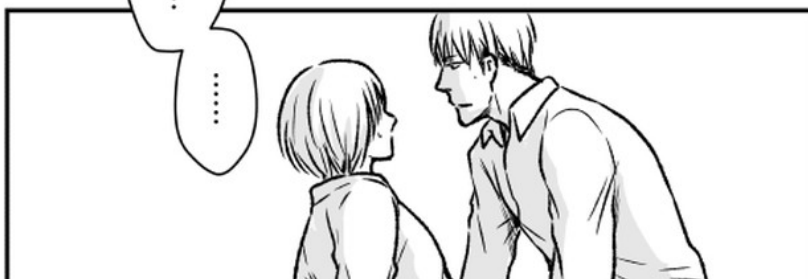
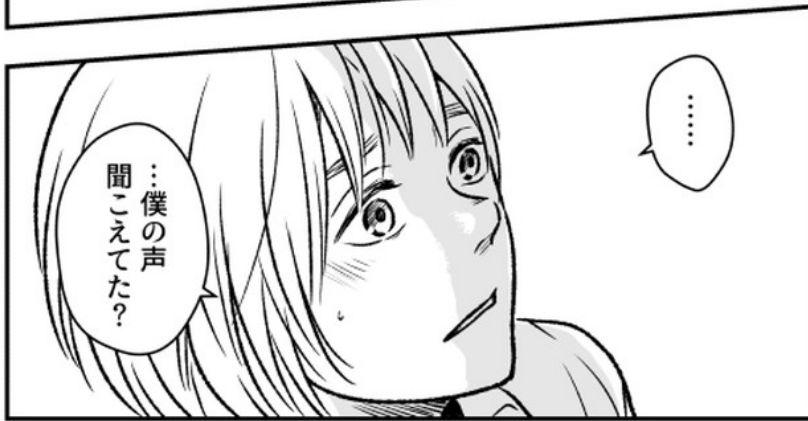
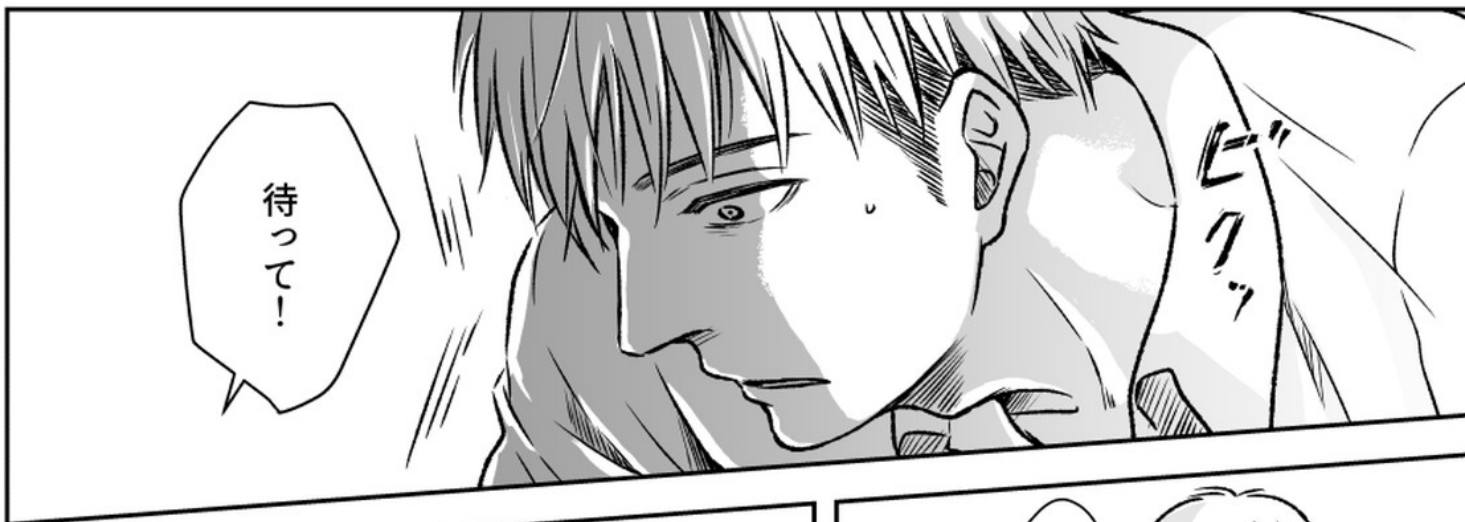
恋人連れ込んで
やってたような
息子だよ













ドズ



はあ…



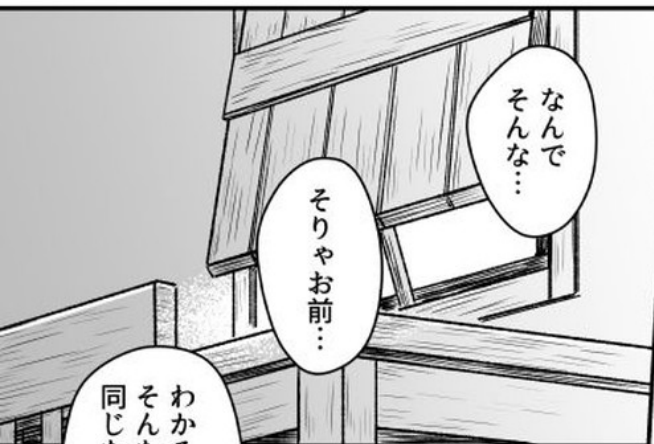
…どうして？



あせって…
その後…ちよつと
気が重くなった

…逆にあせった

…自分から
誘っという
なんだけだよ…
お前があんなに
あっさり承諾
するとは思って
なかったから…



そりやお前…

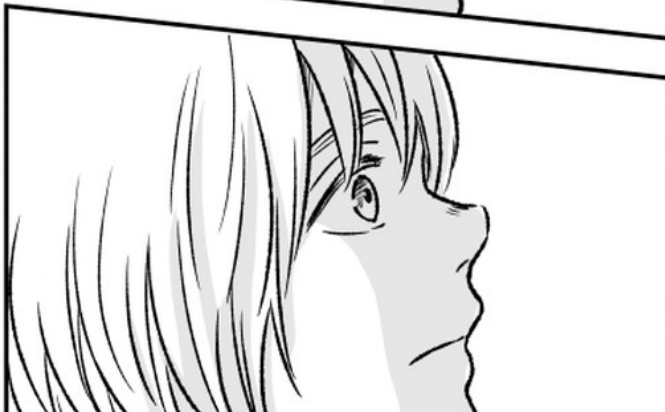
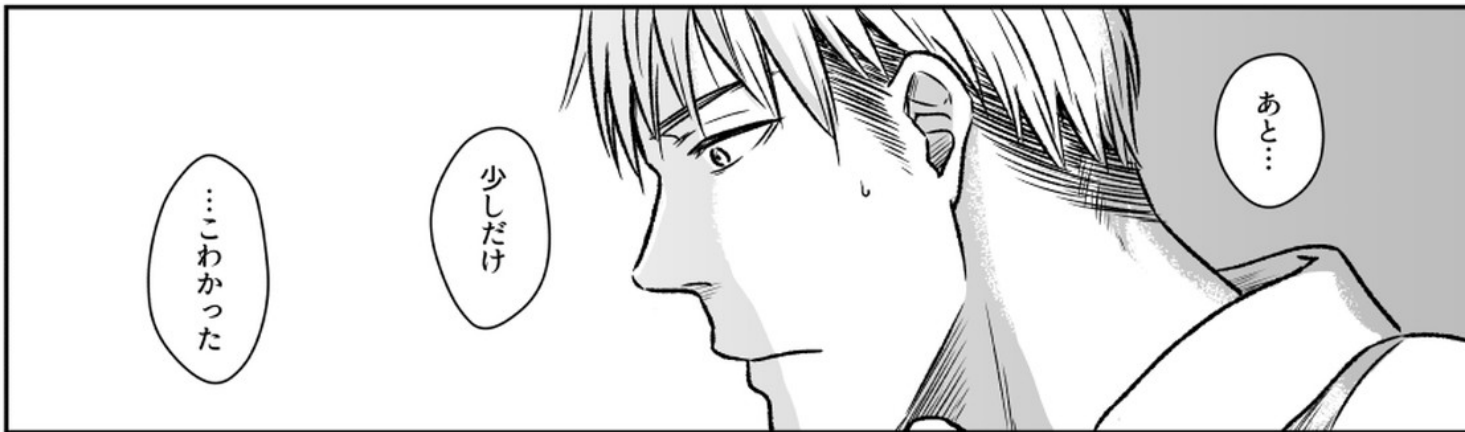
なんで
そんな…

わかるけど…でも
そんなの僕も
同じなのに…



どんな恥
かくことになるやら

…つてよ







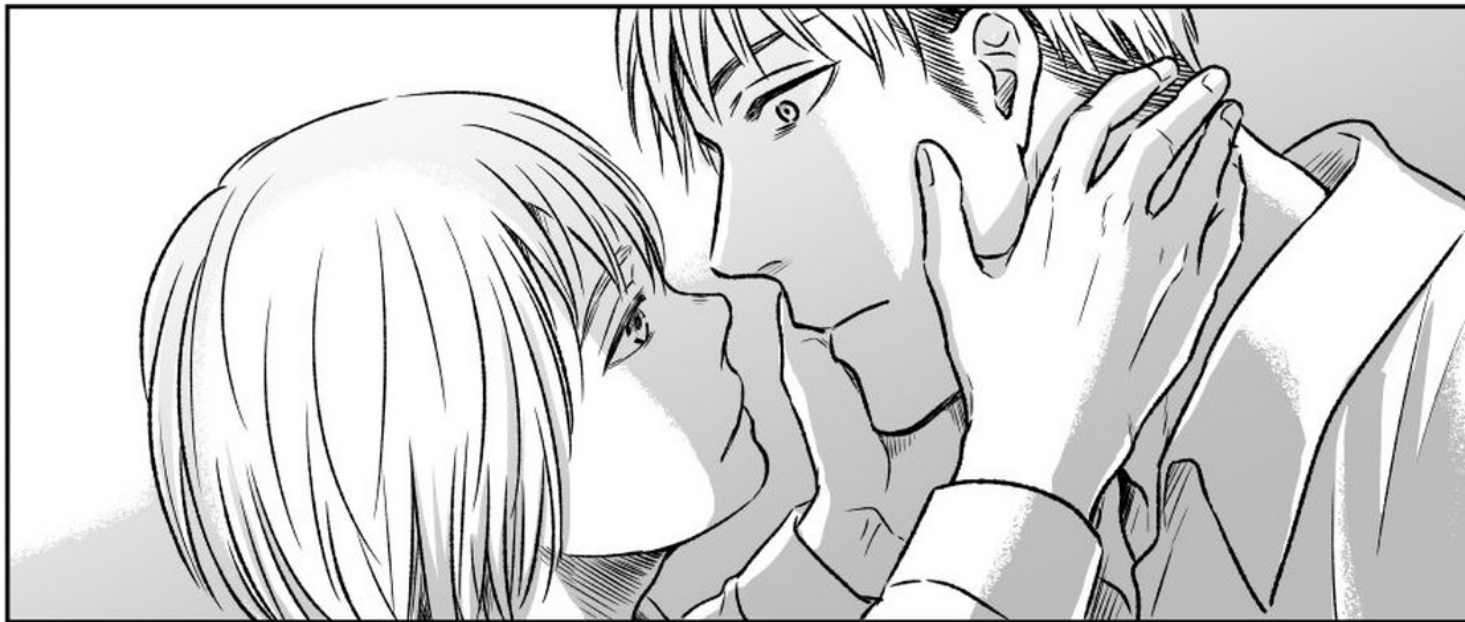
触りたいから触る
で…いいよね？

もっと…単純で
いいと思うんだ



だから…その…
したくない
わけじゃないよ

ないけどでも
…色々考えすぎて
緊張してる
くらいなら…



ぜってえ
似合わねえ

そうかな
やってみたら
案外…

ぜってえ
似合わねえ

そうかなあ…

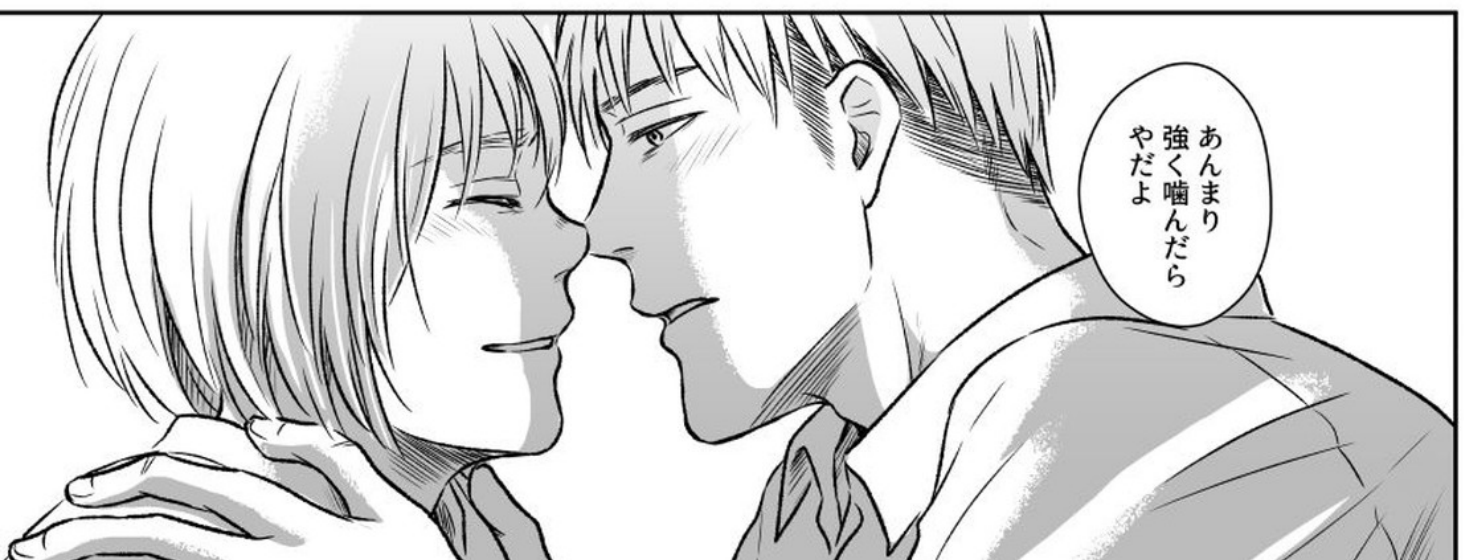
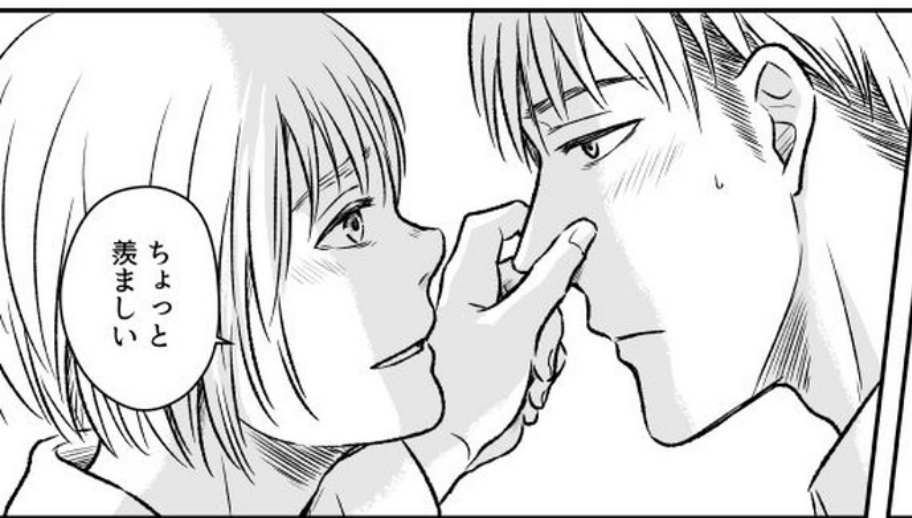


ここ…

ずっと触って
みたかったん
だよ

僕も
刈り上げて
みようかな
似合うかな？





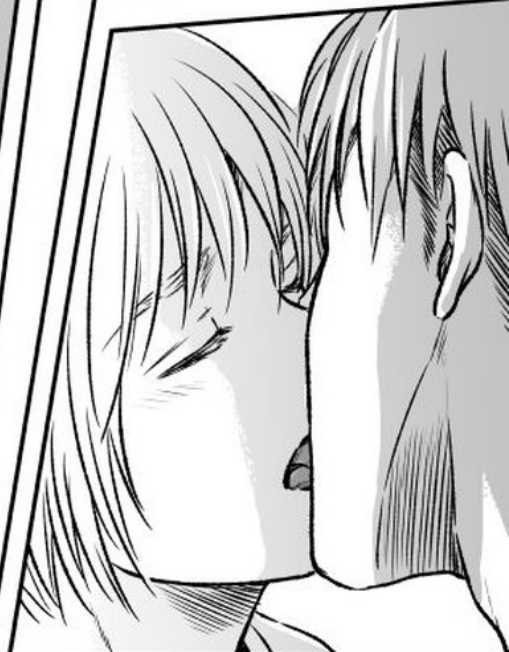
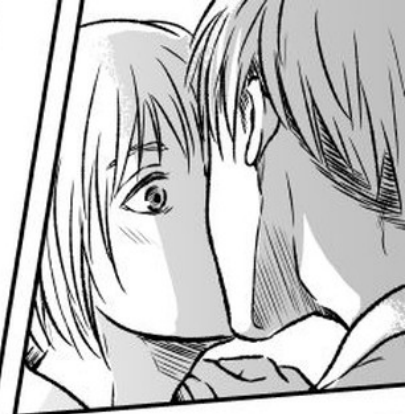


あ…

…っ

…いいか？

ちよつと…
くすぐりたい



とにかく…
嫌では
ないんだよな？

うん…大丈
ぶふっ



大して
触ってねえだろ
お前ちよつと
過敏症なんじゃ
ねえか？

そんなことは
ないと思うけど…

違…
今のは
脇触ったから

…やっぱ
くすぐってえんだろ
それは…



くすぐりたい
だけ？

うーん…正直
よくわからない…
気持ちいい…のかな
これは…
どっちなんだろう…？

俺が
聞きてえんだよ…



ん…



うるせえ



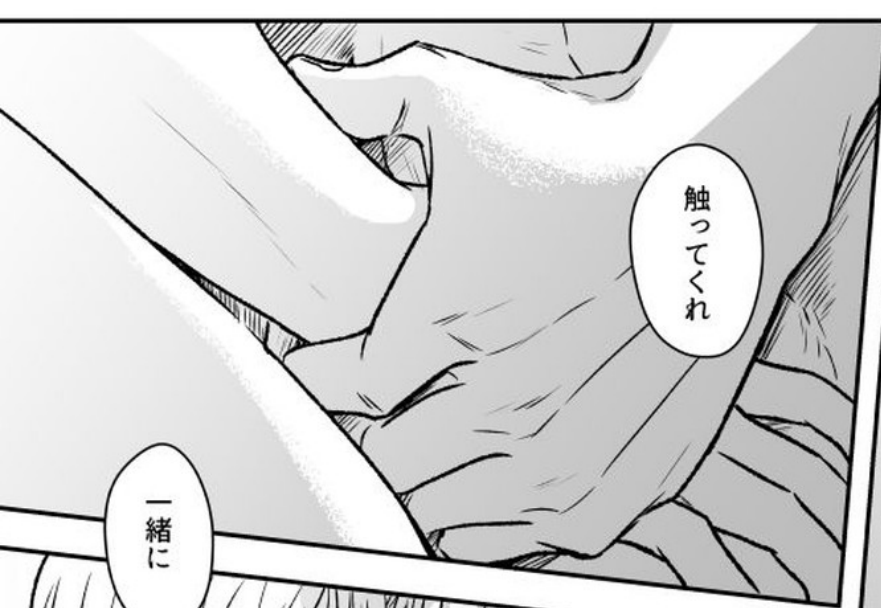
あー…
なんだこれ

もう少しこう…
雰囲気って
もんがよ…

そういうこと
意識し過ぎて
緊張するって
ことはない…？



ド
ド



触
つ
て
く
れ

一
緒
に



な
あ



お前は

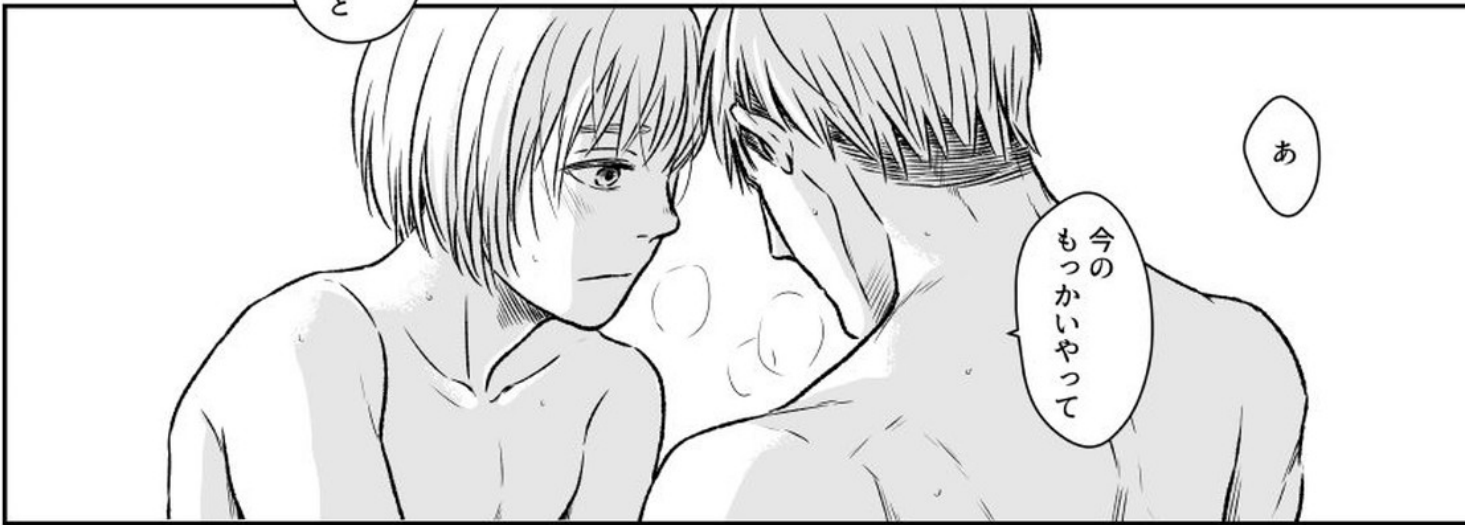
ハア
まあ
助かったけど

最初からあまり
緊張してねえ
みてえだったよな



もう…
緊張解けた？

ハア
見てのとおりだよ



あ

今の
もっかいやって



ジャンは
本当に…

僕で…

すっごく
不安だったよ



…まさか



あ…ごめん

今言わなくて
いいよねこれ
雰囲気…

ごめん
なんか…

わからなくて



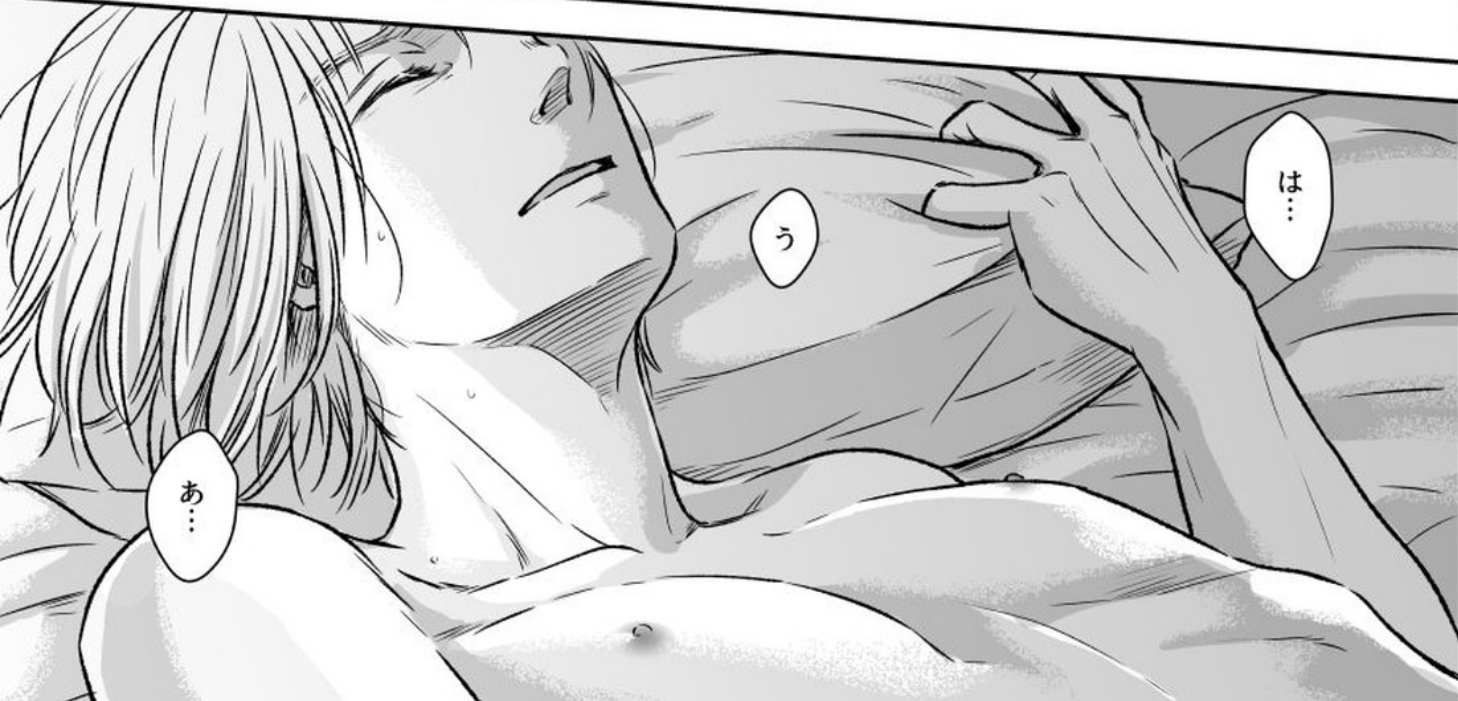
緊張してるって
言ったのだから…



優しさなんじゃ
ないか…とか



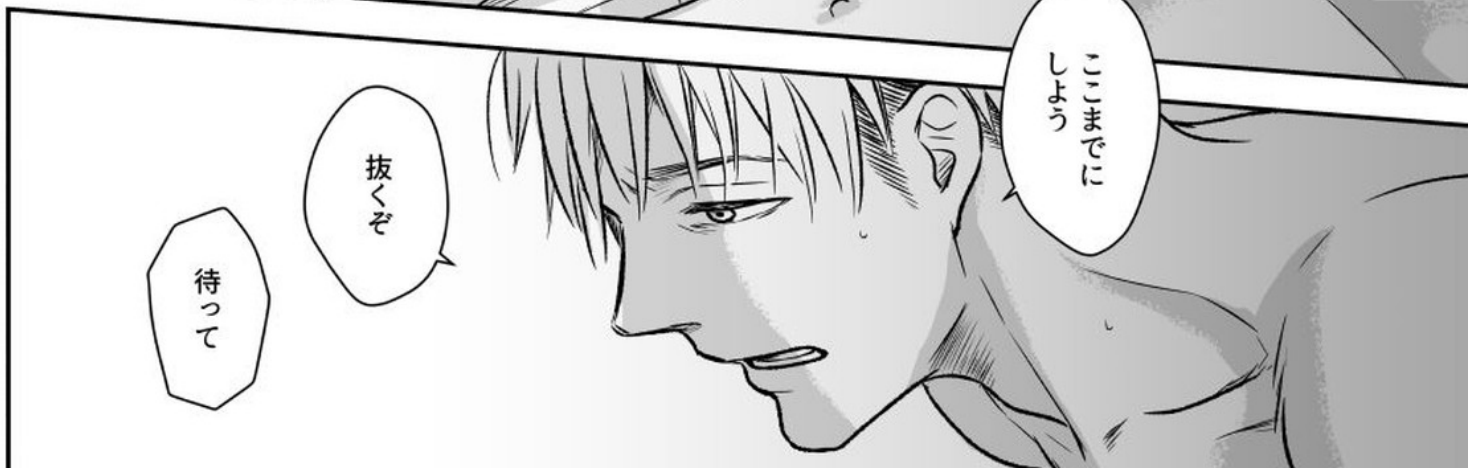
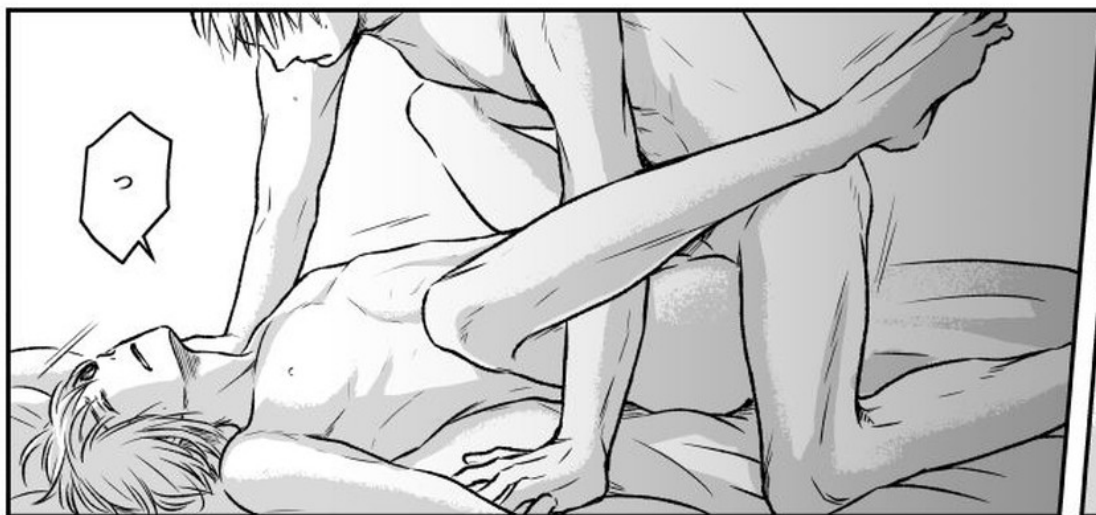
…っ



あ…

う

は…





明日死んだら
どうするの？



お願い
続けて

お前だって
言ってただろ
最後までは無理だよ

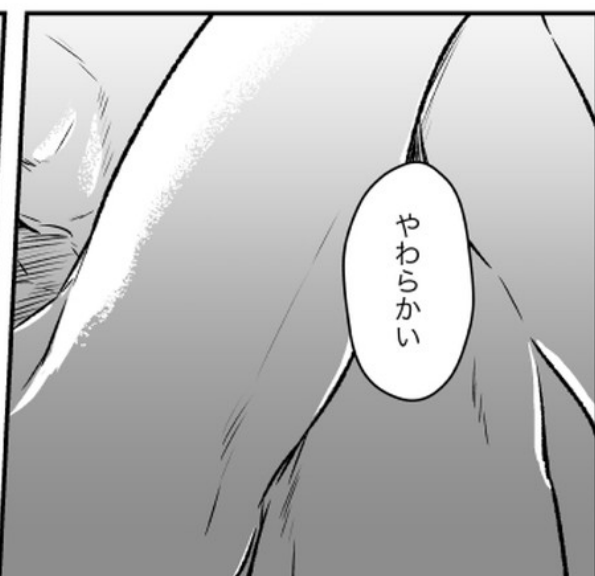


あ…



…わかるだろ

これ以上は
無理だよ



やわらかい



…お前が

やめろって
言い出さない限り
やめるつもりは
なかった

けど…

クソ…



…違うよ

僕が…最後まで
したかっただけ

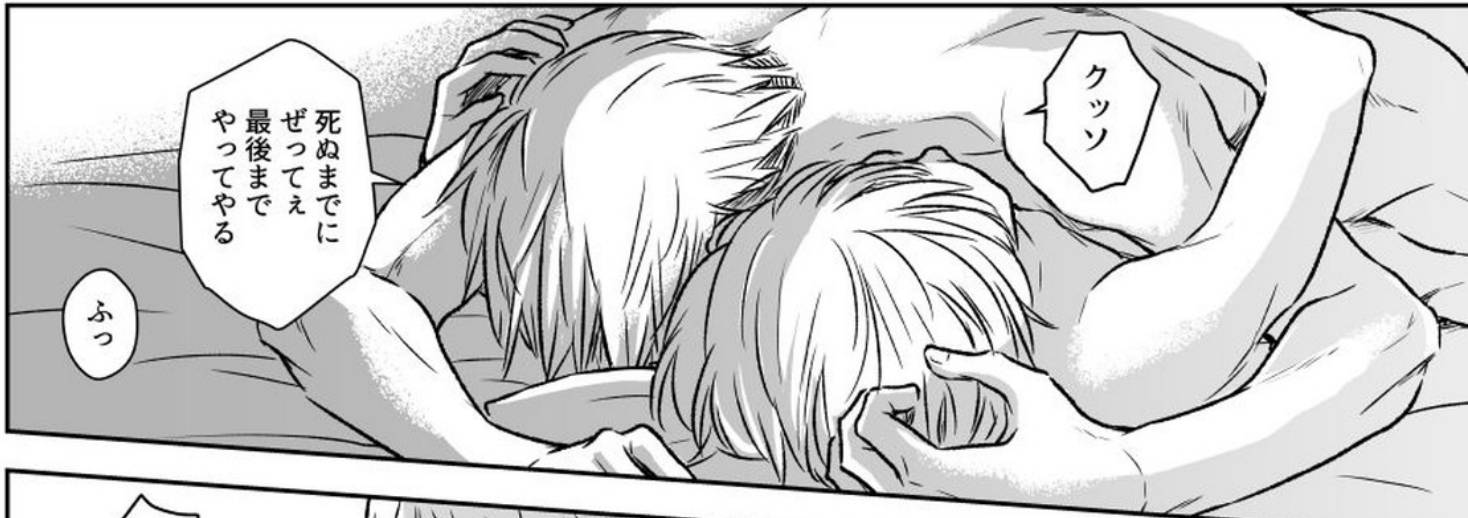


謝るな
…お前の忍耐強さ
舐めてたわ



わかってる
大丈夫
…ありがとう

…ごめんね
無理やりみたいで
…嫌だったん
だよな？



クッソ

死ぬまでに
ぜってえ
最後まで
やってやる

ふっ



ふふ…

そんな決意を
新たに
しなくても…

お前が
言ったんだろ

ふ
ぶふ…

笑うな



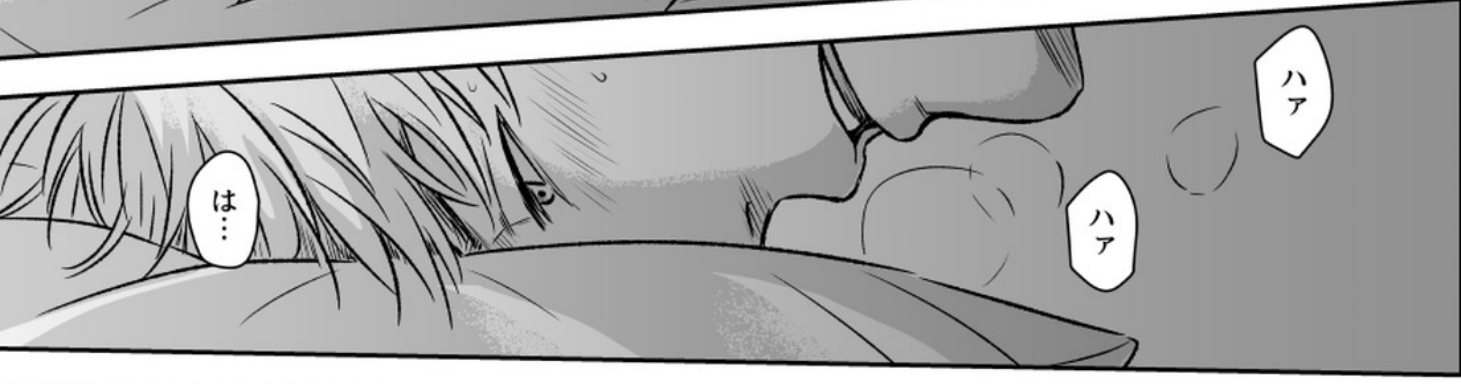
ふは

ふ...

ごめん
止まん...



.....



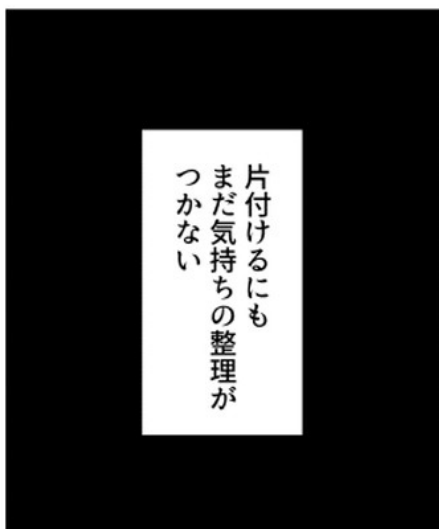
は...

ハア

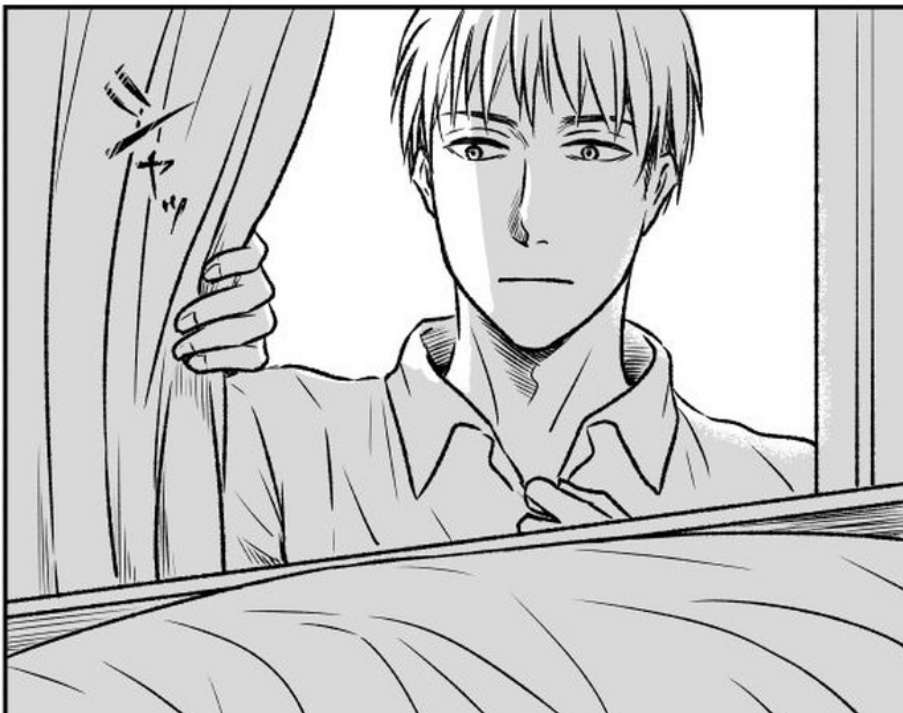
ハア

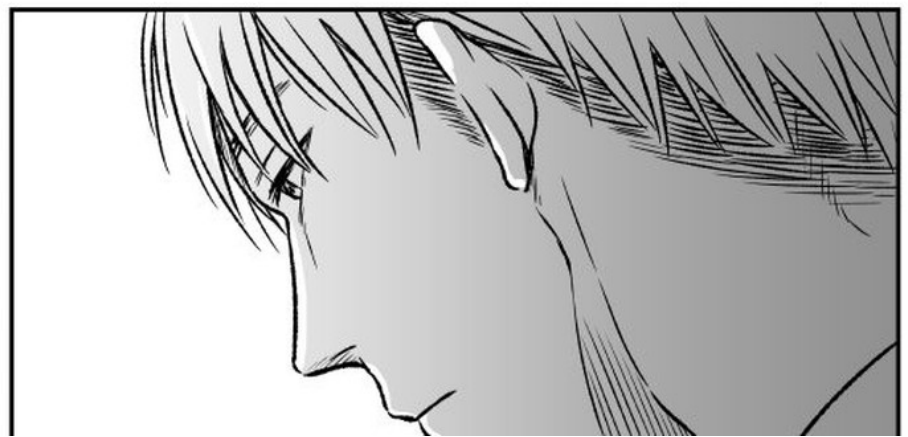
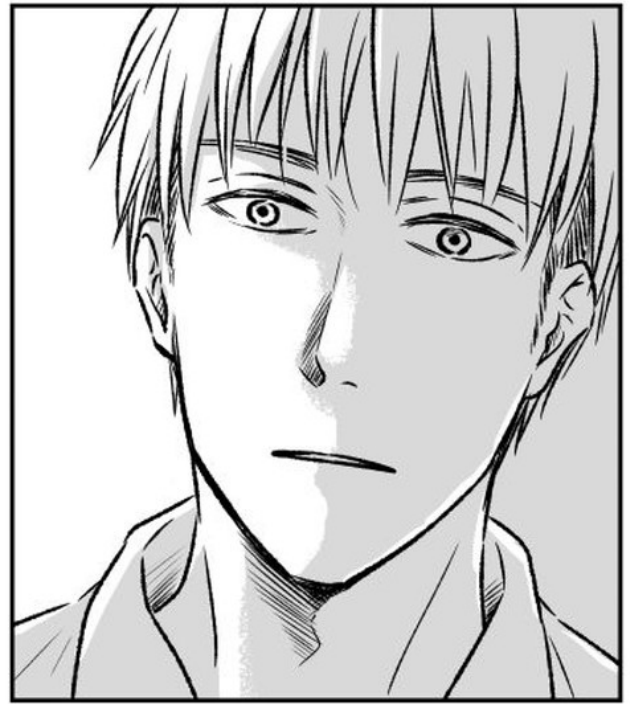


本当
るくでもねえ

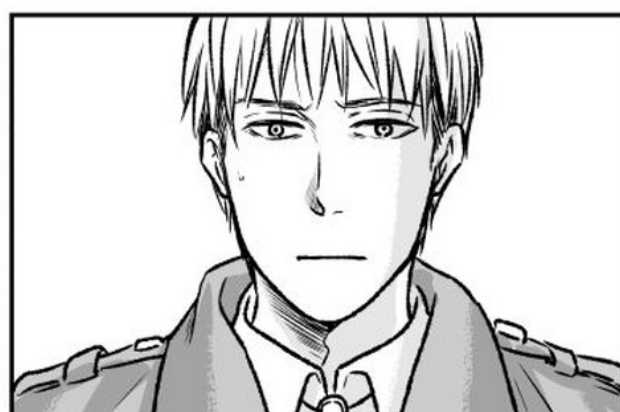
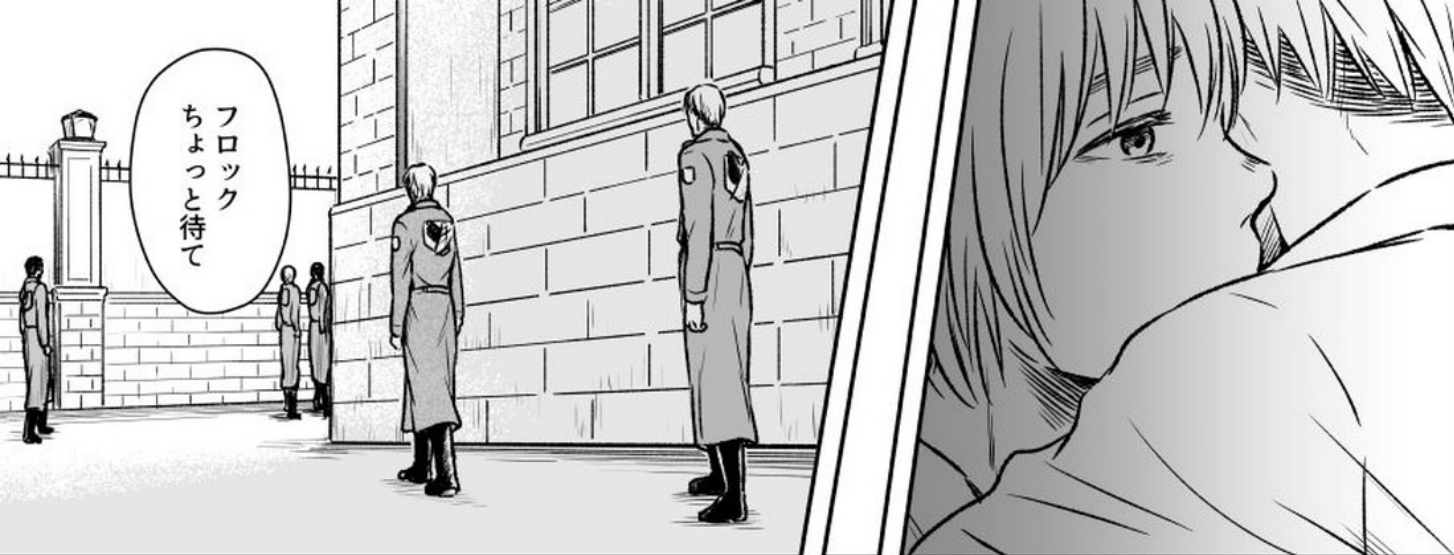














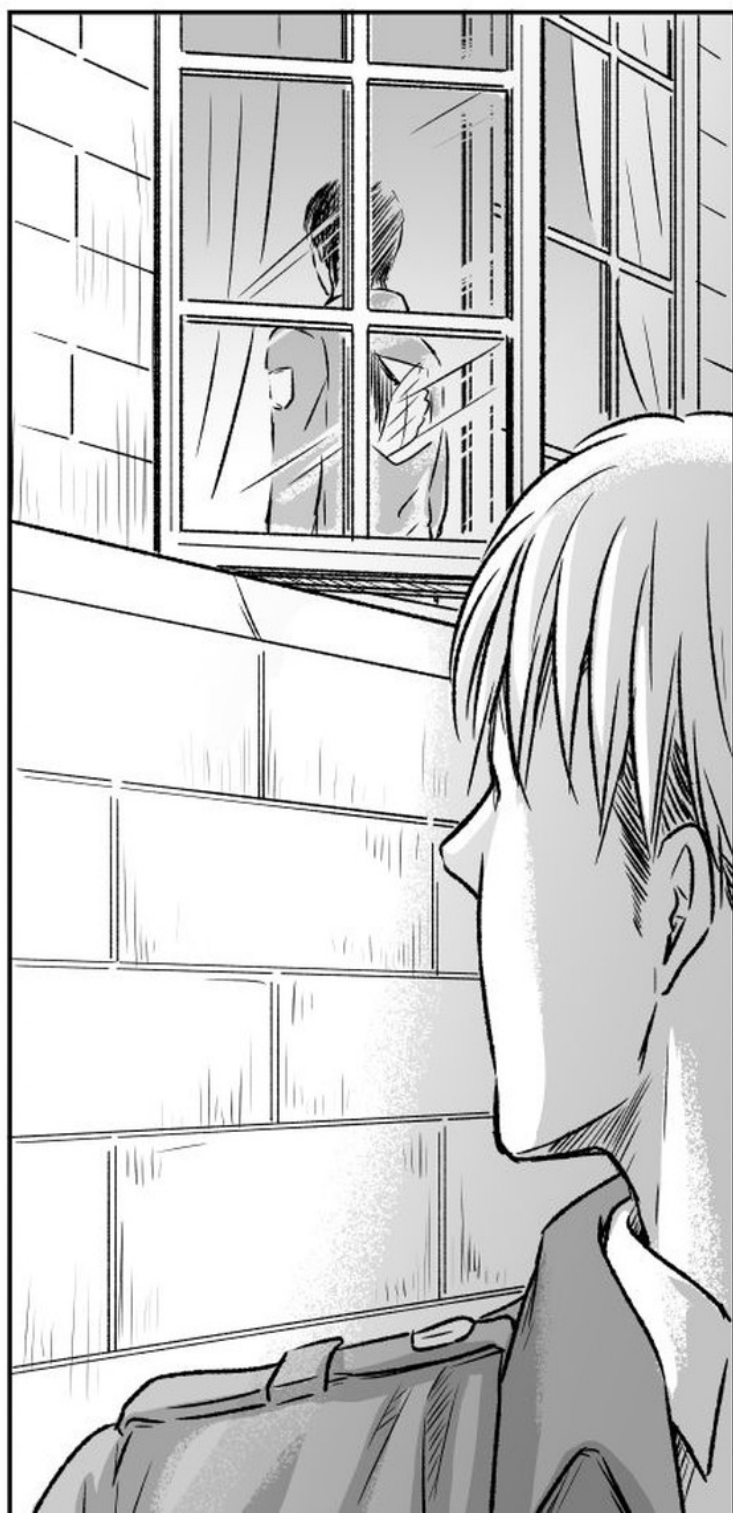
わざわざ
言ってること
ないだろ

アルミンは
言われなくたって
わかってるよ
自分の置かれた状況を



お前はエレンを
馬鹿だと思っただけ
みてえだけ

俺から見れば
どっちも
どっちだったよ
成績は優秀なのに



恐らく一人で…
ずっとそのことを
考えてるんだ
自分がすべきことを





…怒ってない

ものすごく不安だけど、でもそれは…みんな一緒だろ？



怒ってるか？

オレが…お前を



団長を見殺しにしろって、オレは言ったんだ

ミカサは何かあってもオレの味方をするってわかってた



懲罰房で…オレなりに考えてた…ずっと



とんでもないことしちゃったんだって…



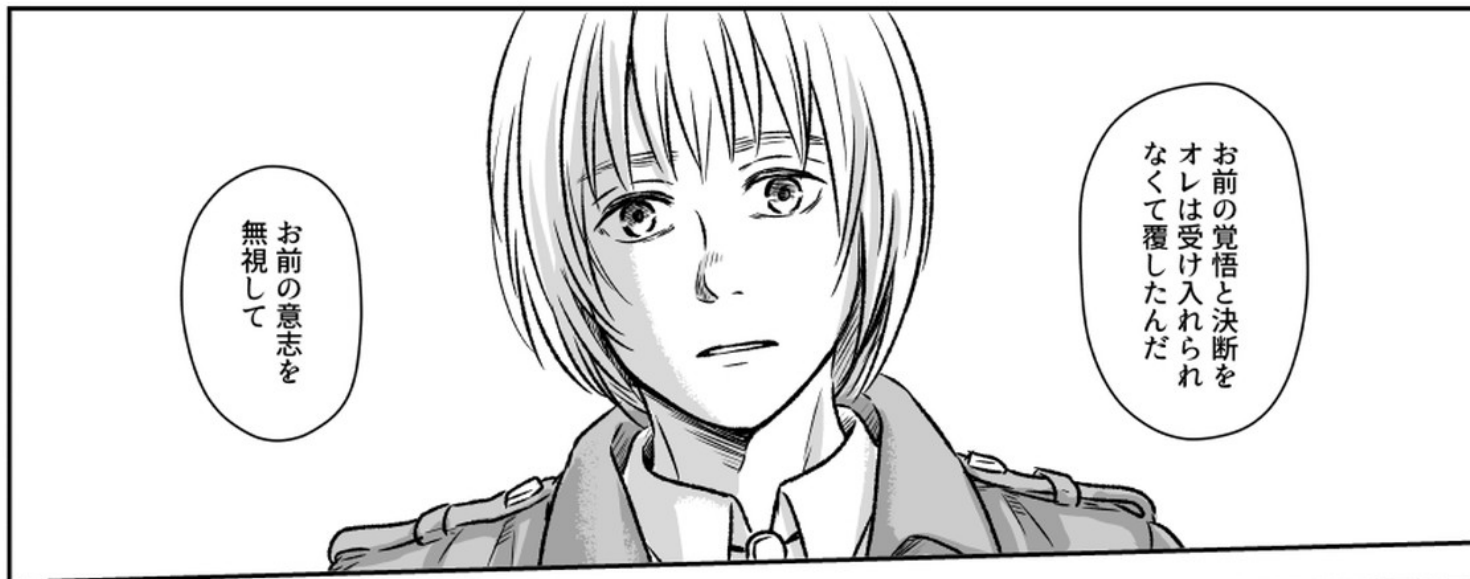
兵長に齒向かう
ミカサの背中を
押した



そっだろミカサ!?



わかってて



お前の意志を
無視して

お前の覚悟と決断を
オレは受け入れられ
なくて覆したんだ



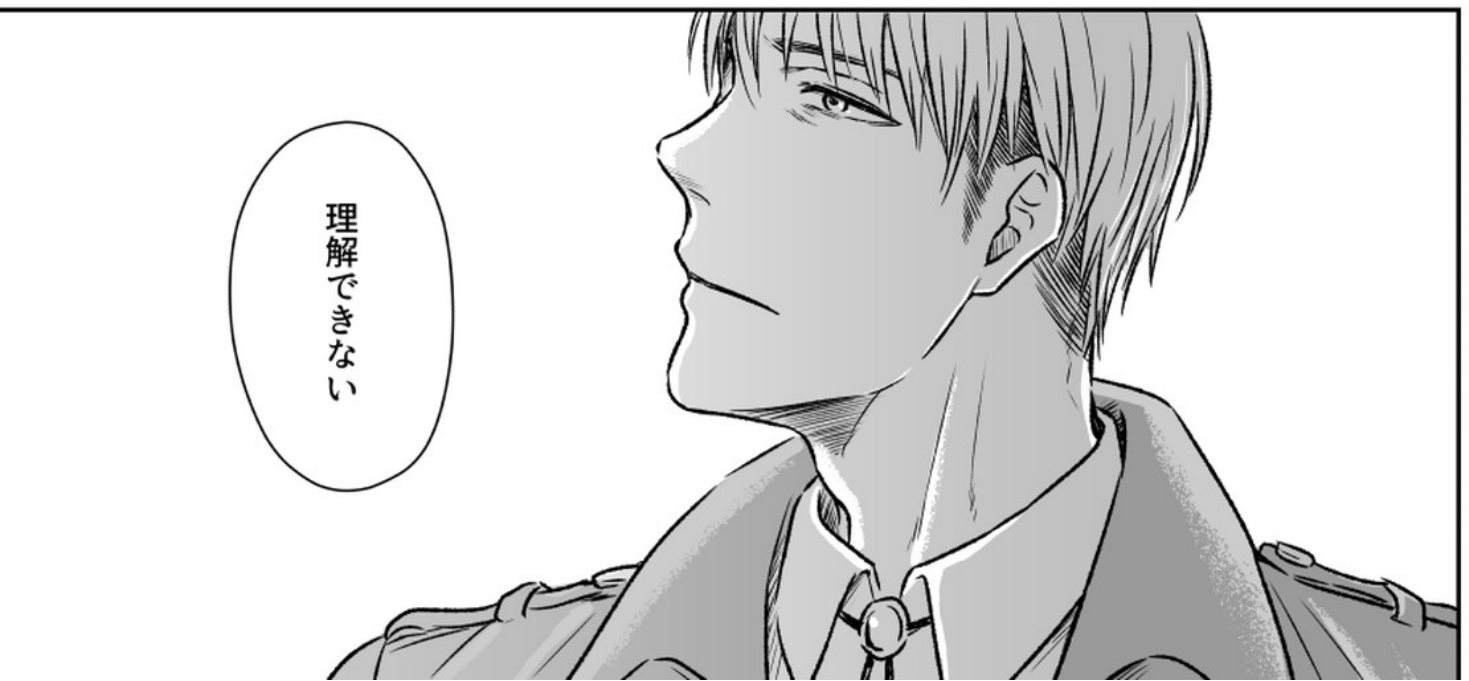
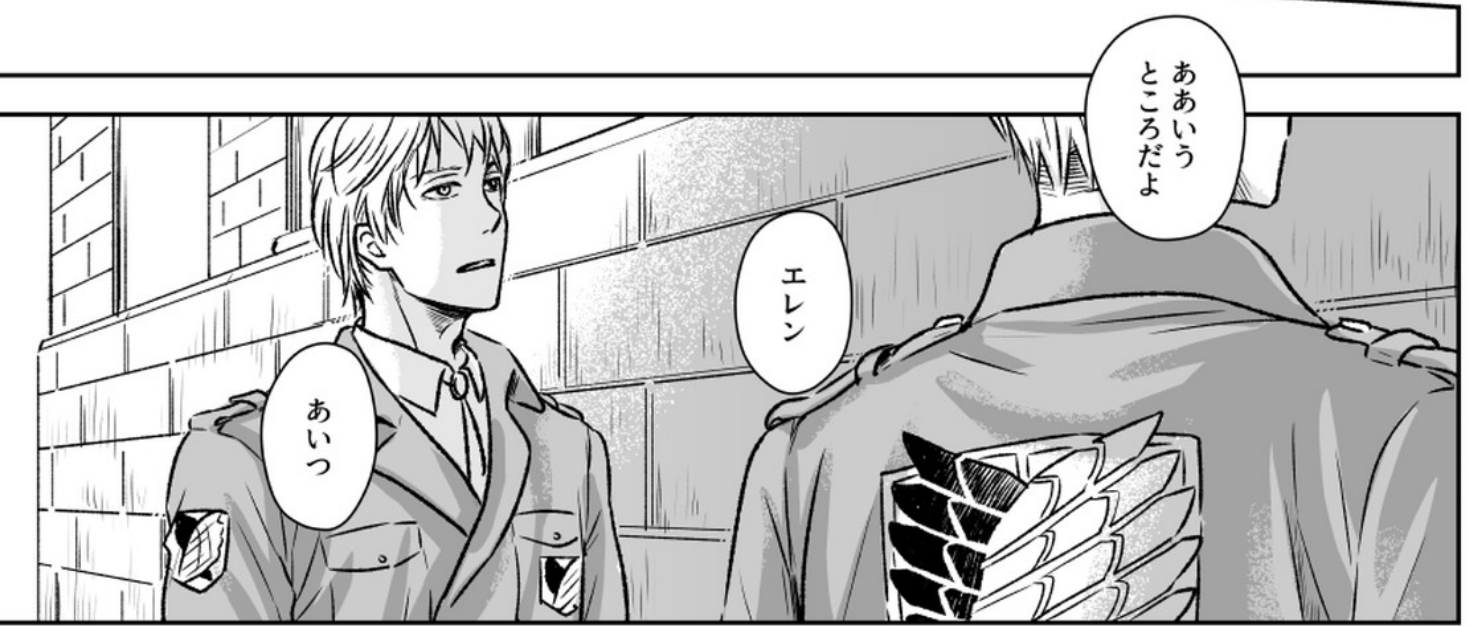
今度は
重い宿命を
背負わせる
ことになった

そのお前に…



けどどな!

エレン





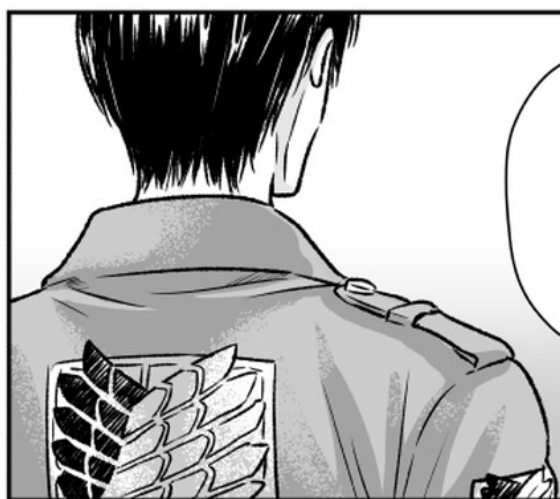
エレンに嘘ついて
決死の作戦を
実行したって
聞いても…

…なんか
実感がなくて



…覚えてないんだ

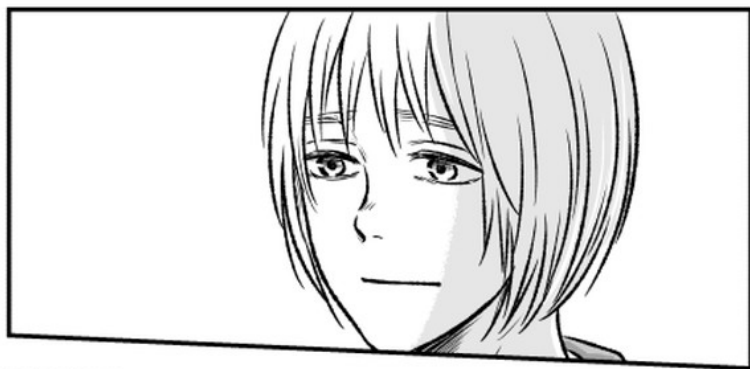
ベルトルト…
超大型巨人を
倒したこと



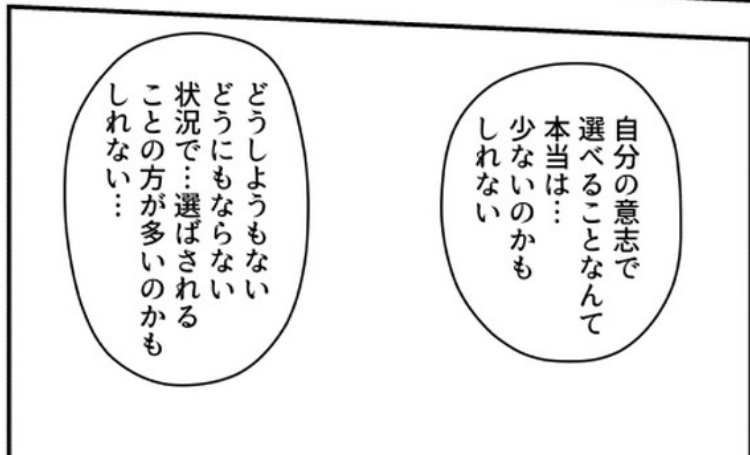
きっと
エレンに
僕の全てを託した



だけど
その時僕が何を
考えていたのかは
わかる



エレンに海を
見て欲しいと
思っただろうなって
…僕の代わりに

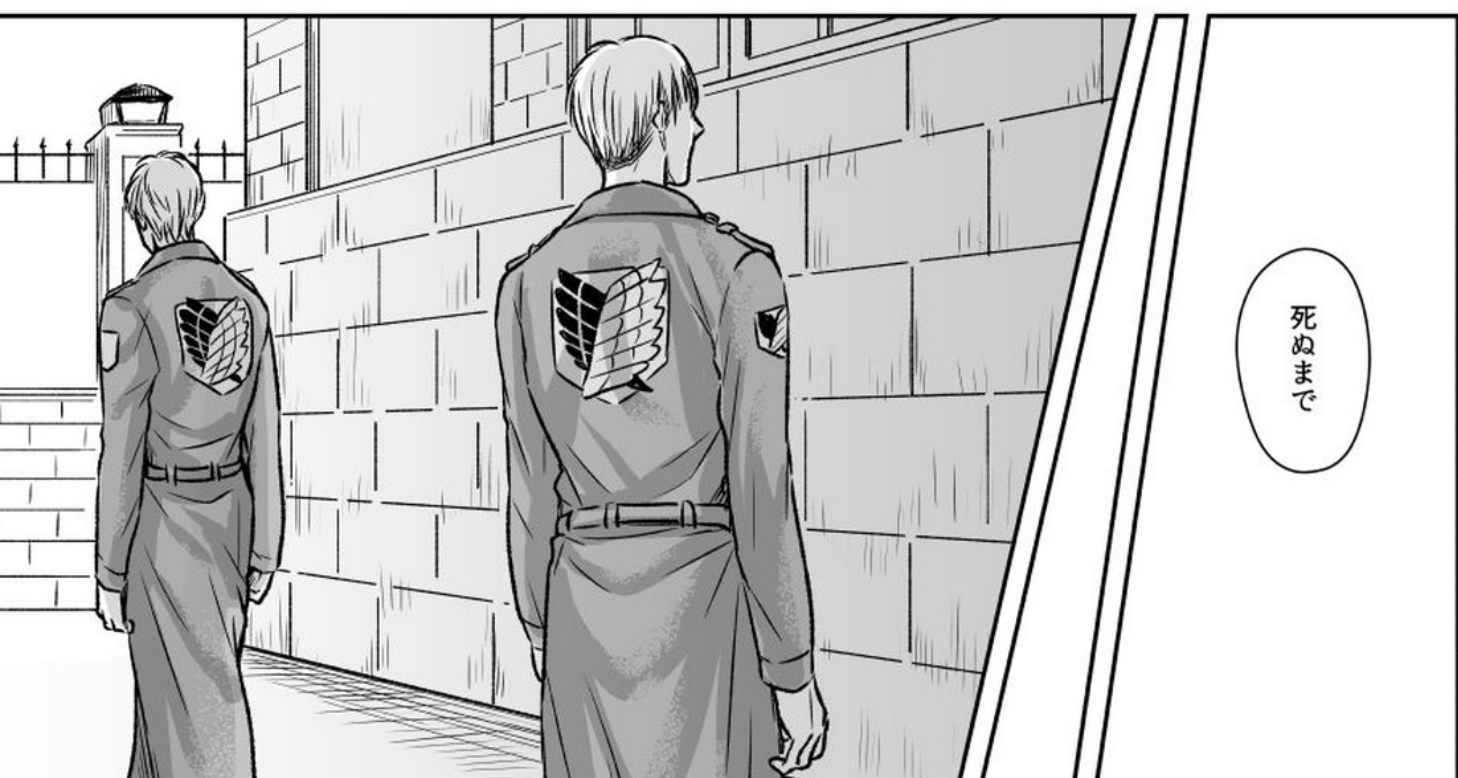
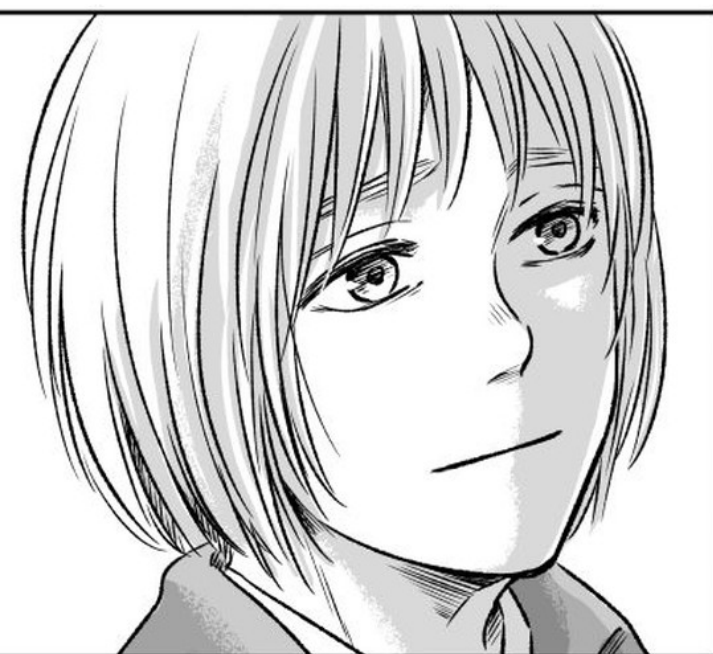


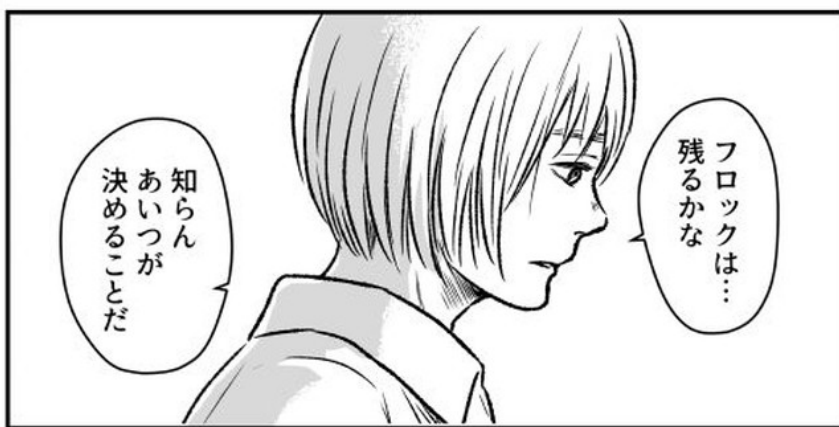
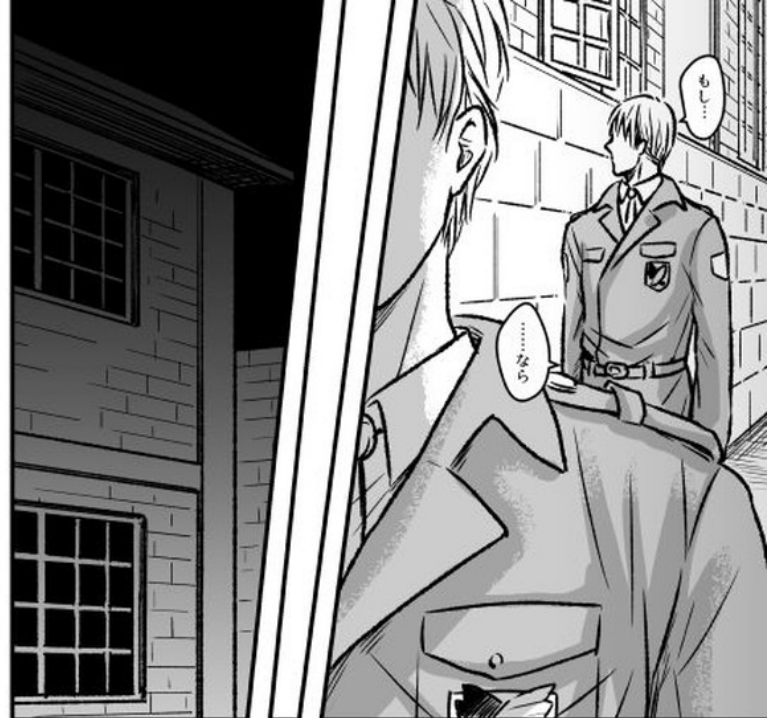
どうしようもない
どうにもならない
状況で…選ばされる
ことの方が多いのかも
しれない…

自分の意志で
選べることなんて
本当は…
少ないのかも
しれない



…







お前には
何度も助けられた

罪悪感を
…慰め合って

いつのまにか
離れ難くなつてた

好きだ

このままで
いいだろう

何も変わらねえよ

あの晩

ジャンは
僕のために…
わざわざ戻って
来てくれたのに…

僕は
君のことを

そこは普通
「怒らないで
聞いて欲しい」だろ

シガンシナから
帰って来てから

一度も思い出さ
なかつたんだよ



そんなことにも
思い至らなかった

僕は…君を

愕然とした
抱き締められた時

待ってて
くれてたのに



今のお前に
そんな余裕が
あるはずねえよ

そんなことは
わかってる
いいんだよ俺のことは



今だけじゃないんだ
この先ずっと

13
年間



死ぬまで

一緒？

だから

見えないんだ

君の隣に
いる自分が

それでいいって
言ってるんだ

待っていることしか
できなかった

待っていた

俺はずっと



あいつなら
自分から
手を取りに
行くんだろうか

去ろうとするこいつを
強引にでも引き止める
ことができるんだろうか

躊躇なく
どんな結果でも
後悔していないと
言い切れるあいつなら



お前が俺に
後ろめたさを
感じているって
言うなら

俺にだってある

俺は
あの時……



…それが序列ってもんだ
俺はエレンとミカサが
やったことを正しい
とは思っていない



……

…団長を
生かすべきだと
思った



うん

ジャンが
正しいよ



お前が
戻って来てくれて…
本当に嬉しかった



それでいて
エレンとミカサを
止めることも
しなかった



団長がいなくて
これからどうなるんだ
って途方に暮れた



自分では何一つ
選んでないくせに

ずるいんだよ
ただずるいだけだ…

こんなことを
言う資格は
俺にはないのかも
しれないけど



僕に残された
時間の使い道は
もう決まってる

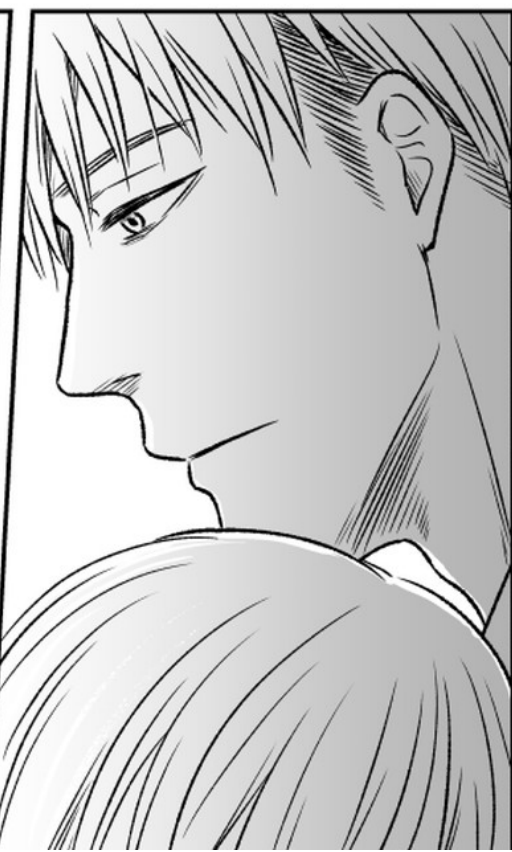
君に返せるものが
もう本当に何も
ないんだよ



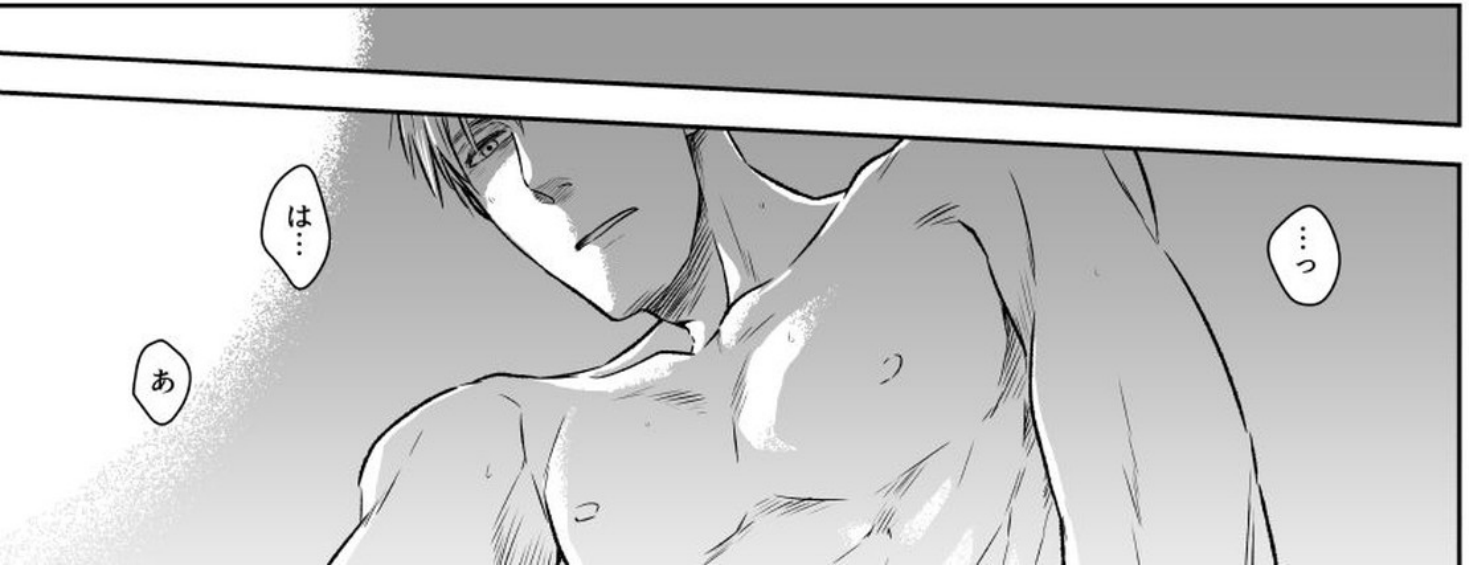
そんなふう
に
言わないで

そんなふう
に
言ってくれる
君だから…

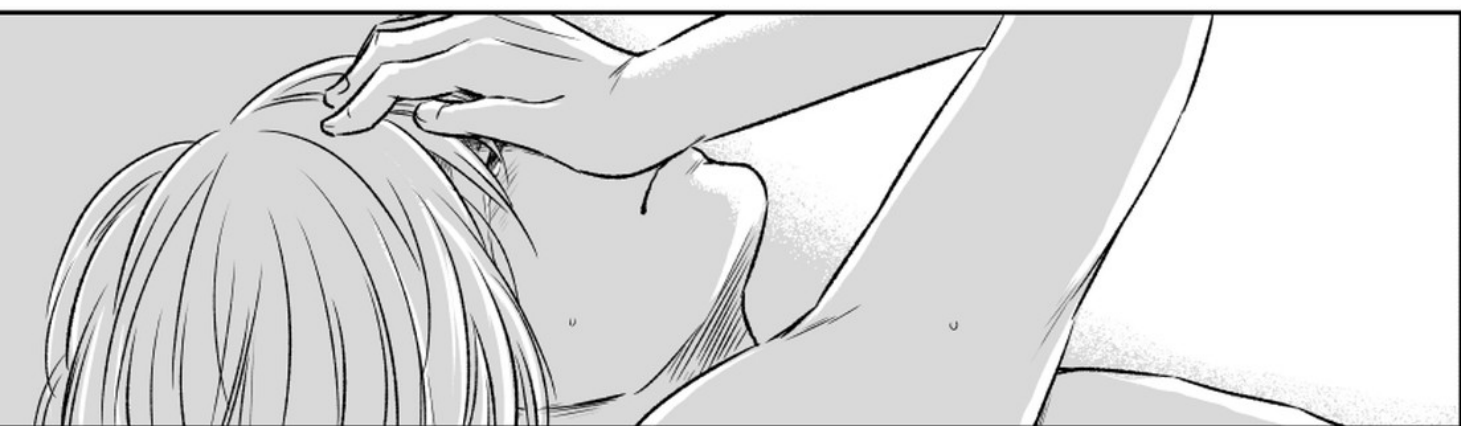
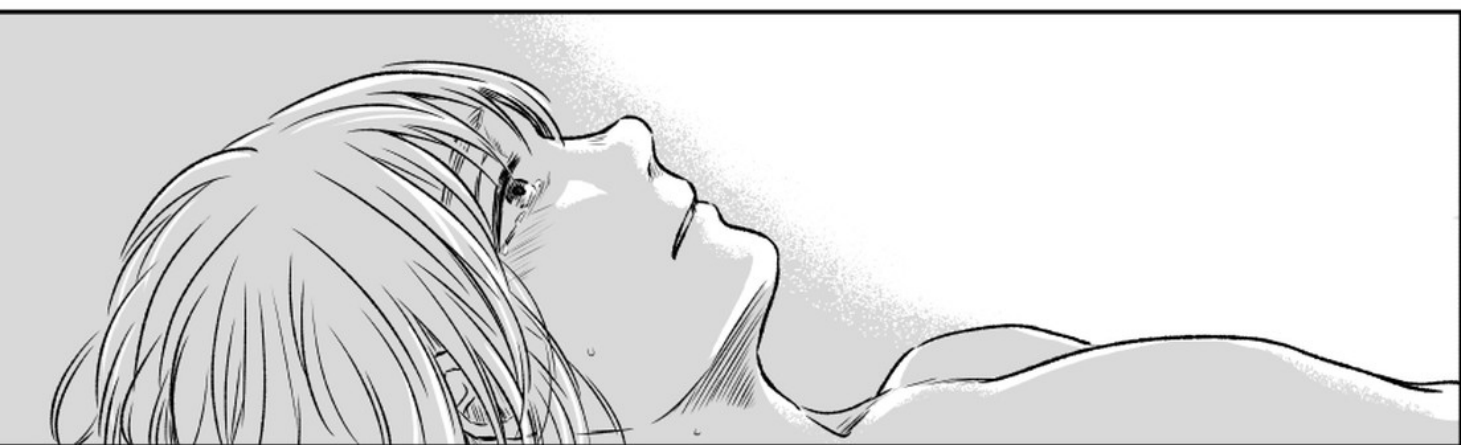
その優しさ…
浪費させたくない

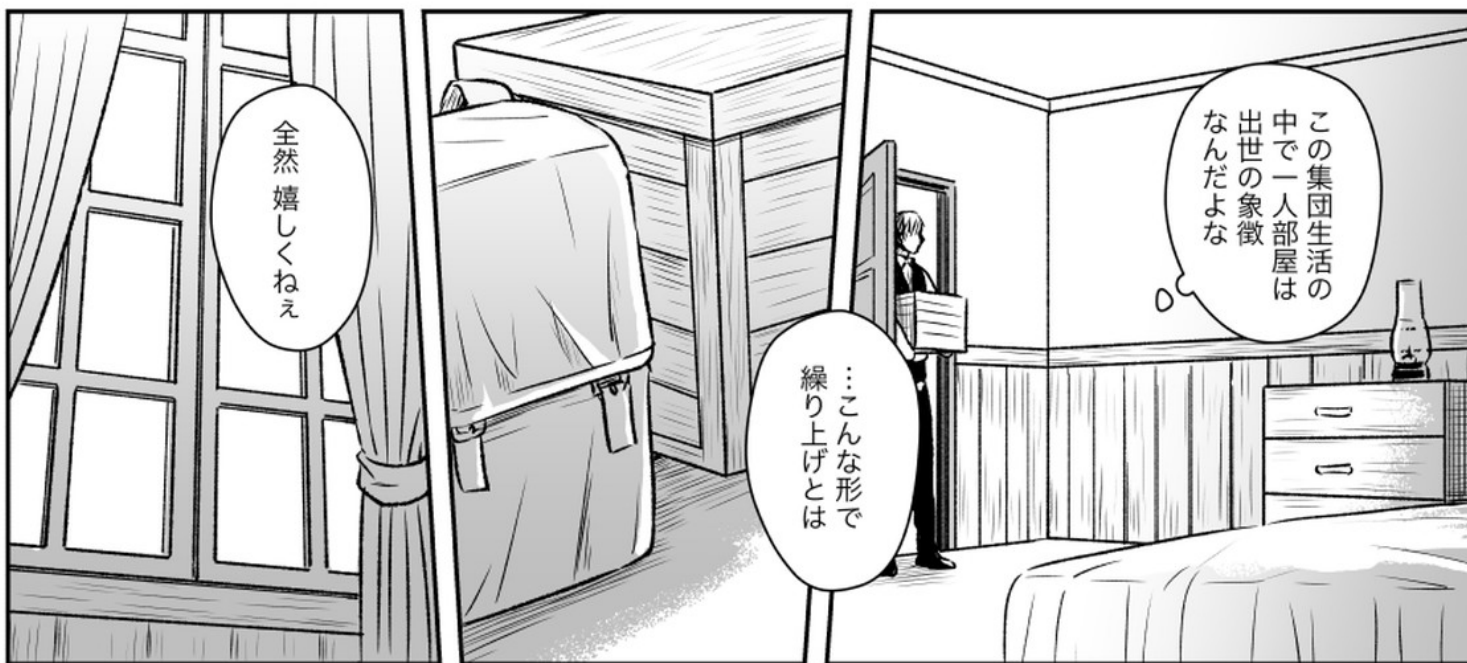




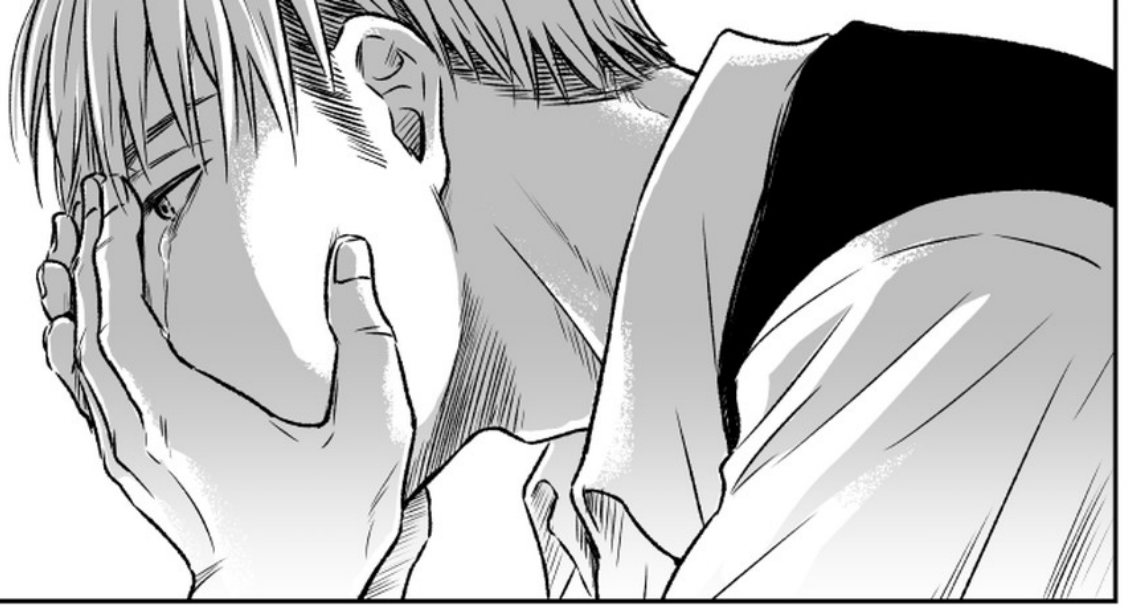








人目憚らず
泣けるな



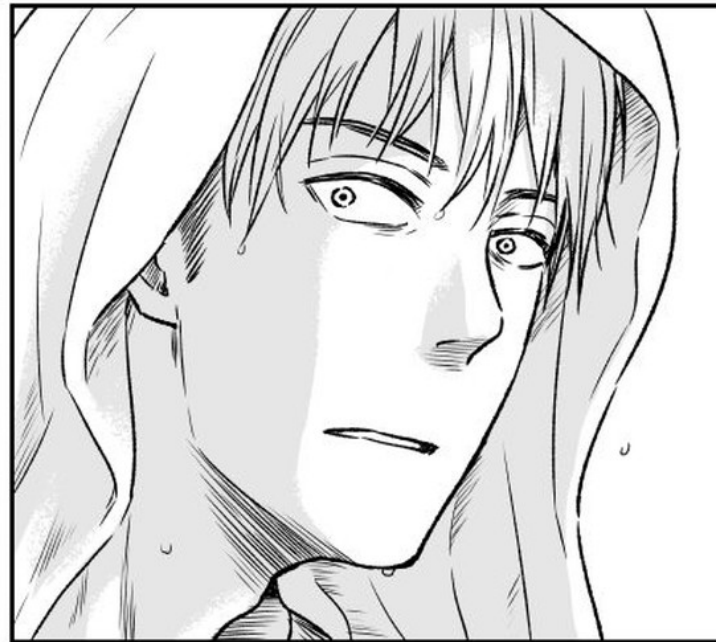
Attack on Titan Fanbook | 2017.12.30 | Jean*Armin
Orange Box | Kamamoto | savnacorez@yahoo.co.jp | pixiv id855029

印刷所：栄光印刷様
無断転載・インターネットオークションへの出品はご遠慮ください。
No reproduction or republication



アルミンと

付き合ってただろ



…まあ
あいつ
わかりやすい
からな

お前もだよ

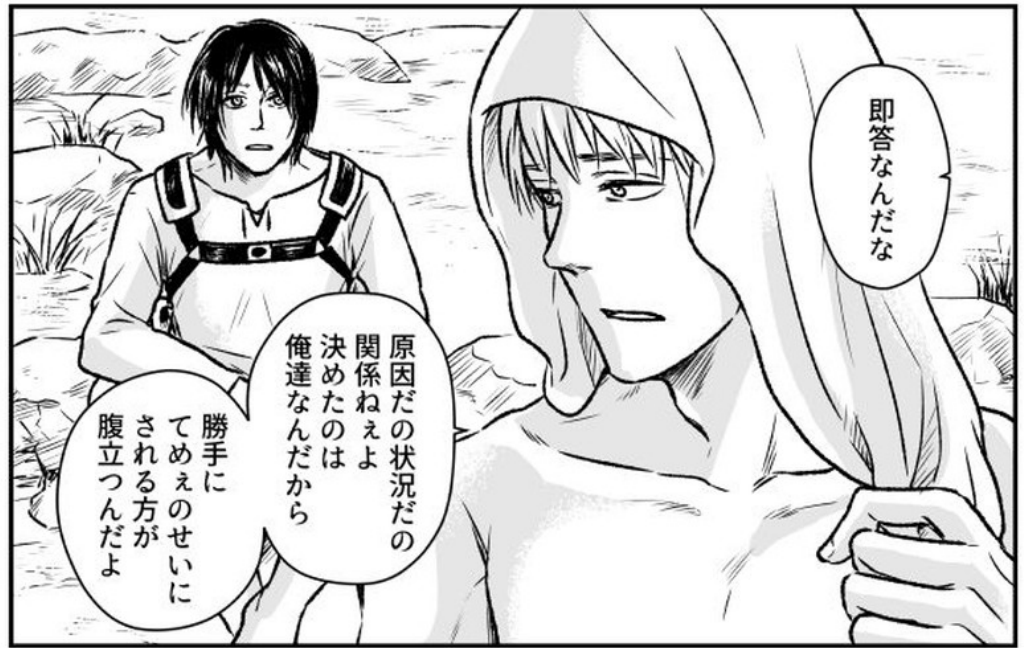
気付いてたのか

なんだ



何がそんなに
楽しいのか…
締まりのねえ顔
しやがってよ

あ？





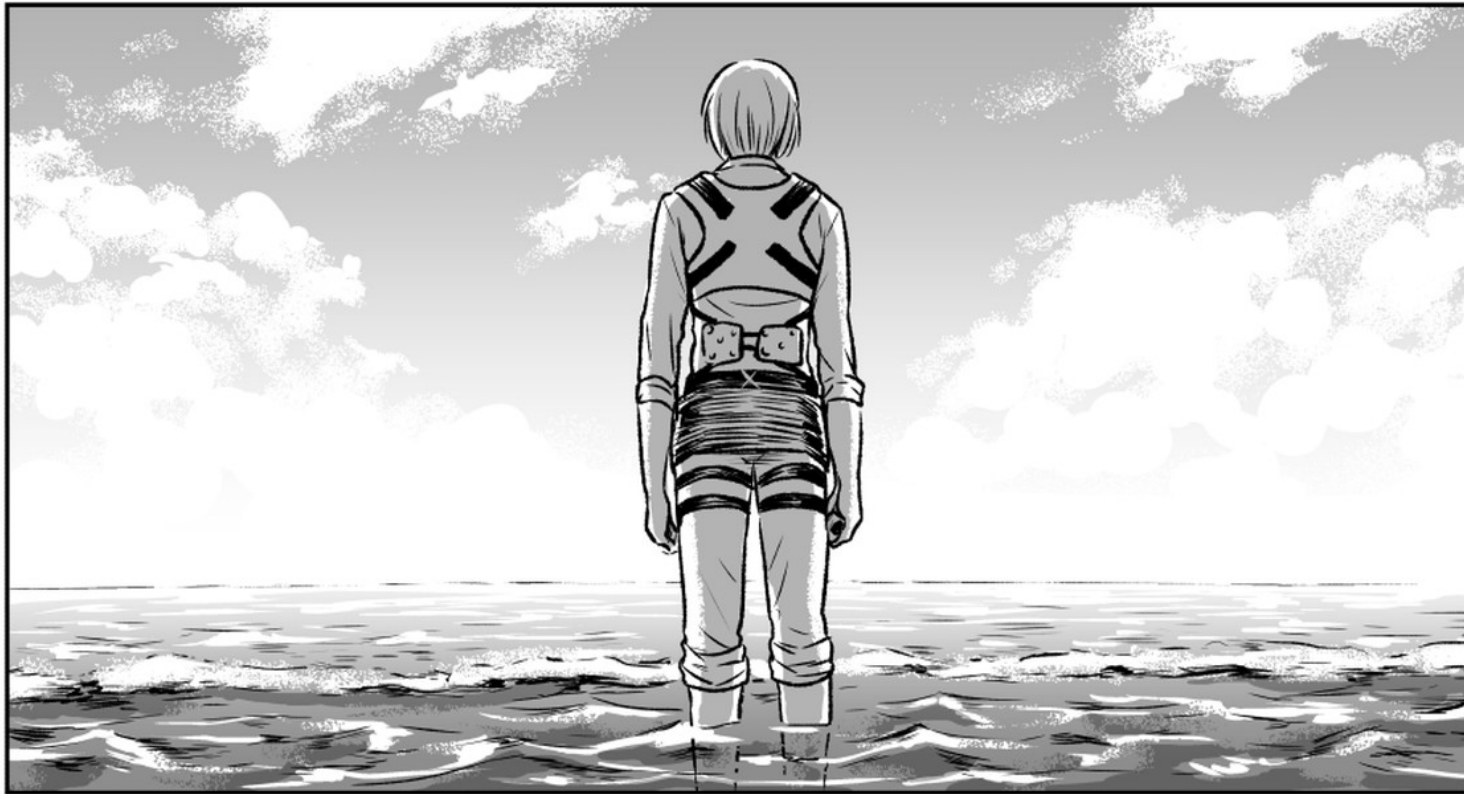
俺がお前らより先に死なない保証はねえよ

てめえらだけで戦ってると思うな



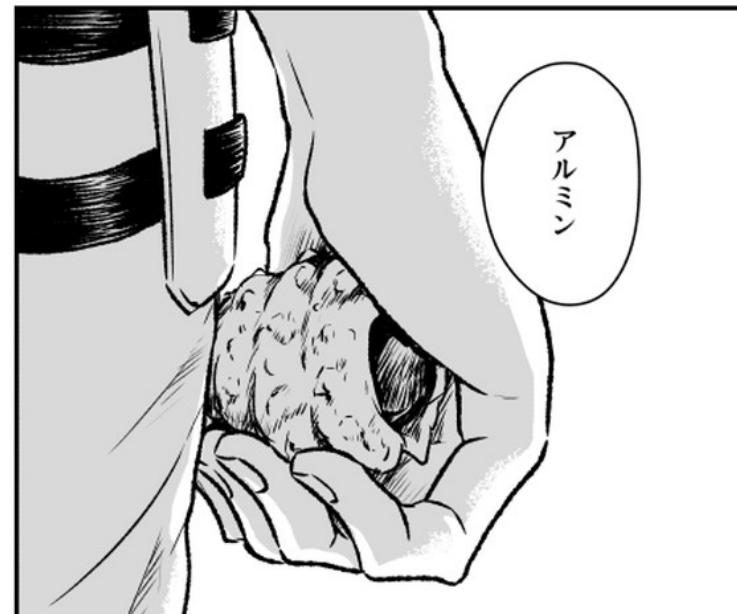
わかってるよ

…なんとなく言ってみたくなっただけだよ

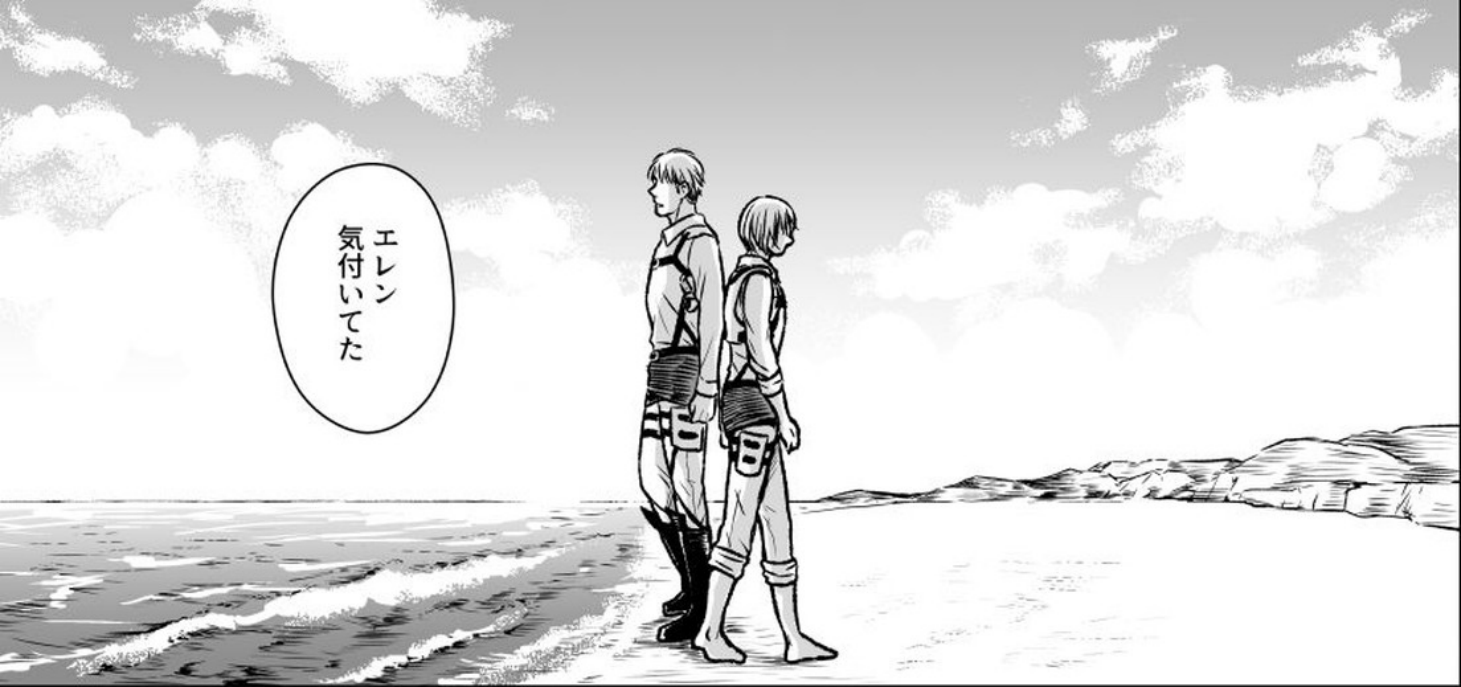


うん…

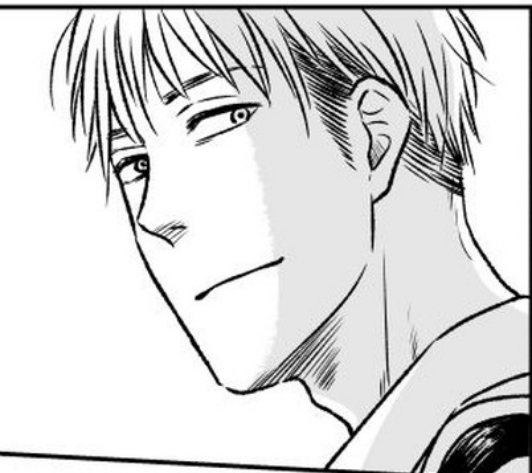
そろそろ上がれ冷えるぞ



アルミン



エレン
気付いてた



え

まっさか
あの激鈍野郎
がな……

あれどこまで
知ってんのかな

そういや
あの調整日の翌日
何かやたら

ちよつと!!



これくらい許せ
こっぴどく
振られた腹いせだ

…押揃わないでよ



…救われてた
すごく



…でもあの後
…態度変えないで
いてくれたよね



…僕も泣いた

でもまあ…
今だから言うが
結構泣いた



言ったら

何も
変わらねえって



振ったの
お前だろ

ついでに白状
すると未だに
俺のオカズ
お前だからな

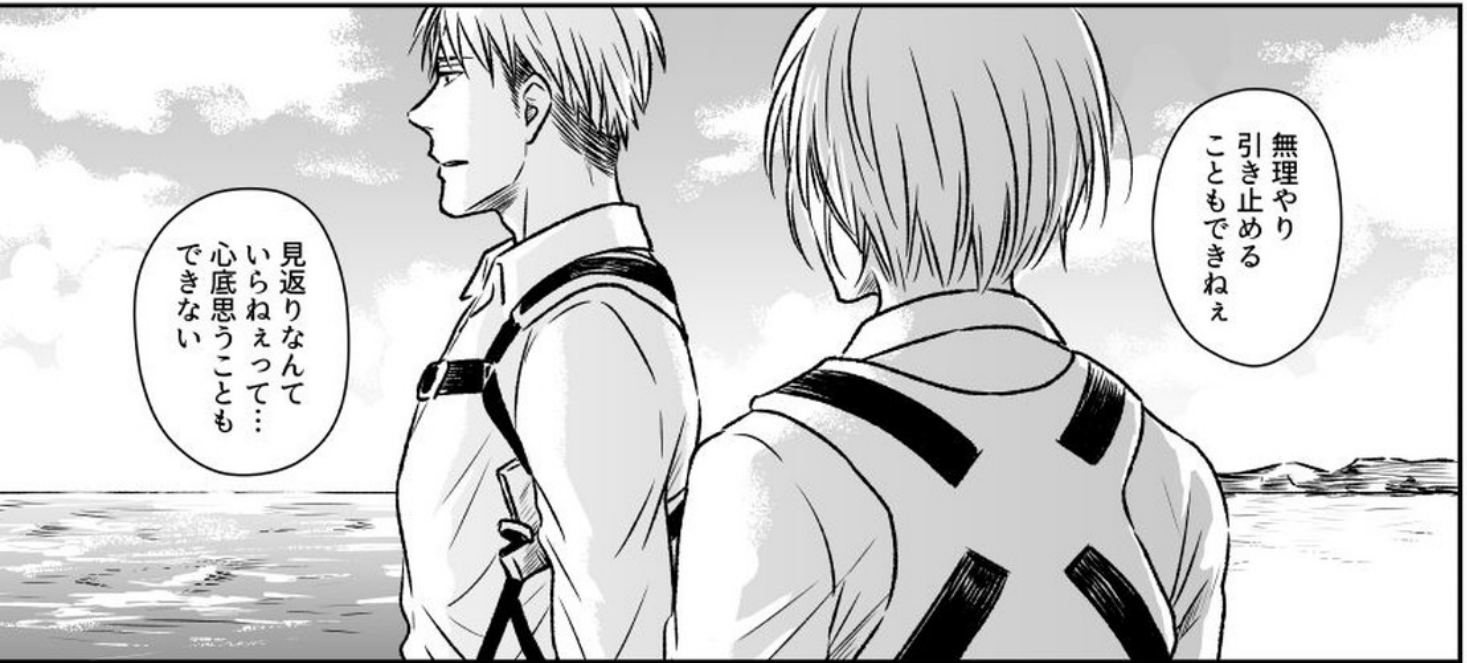
だからなんで
そういう



…なんで
そういうこと…

言えるように
なっちゃった
かな…

さあな
吹っ切れたんだろ



無理やり
引き止める
こともできねえ

見返りなんて
いらねえって…
心底思うことも
できない



お前を失うことを
考えると…

怖くて
逃げ出したくなる

そういう半端な
自分が情けなくて
たまらなかつた
んだが

たぶんお前の側に
いたら…そういう
嫌な自分を
突きつけられて…
しんどいこと
なるんだらうけど

それが嫌で離れたら…
それこそ本当に最低だ



…ようやく

ずるくても
いいか…って
ちよつと
思えたんだよ



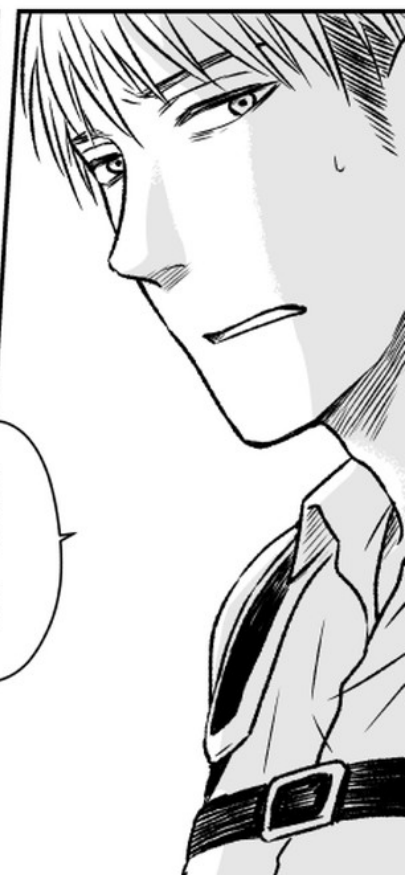
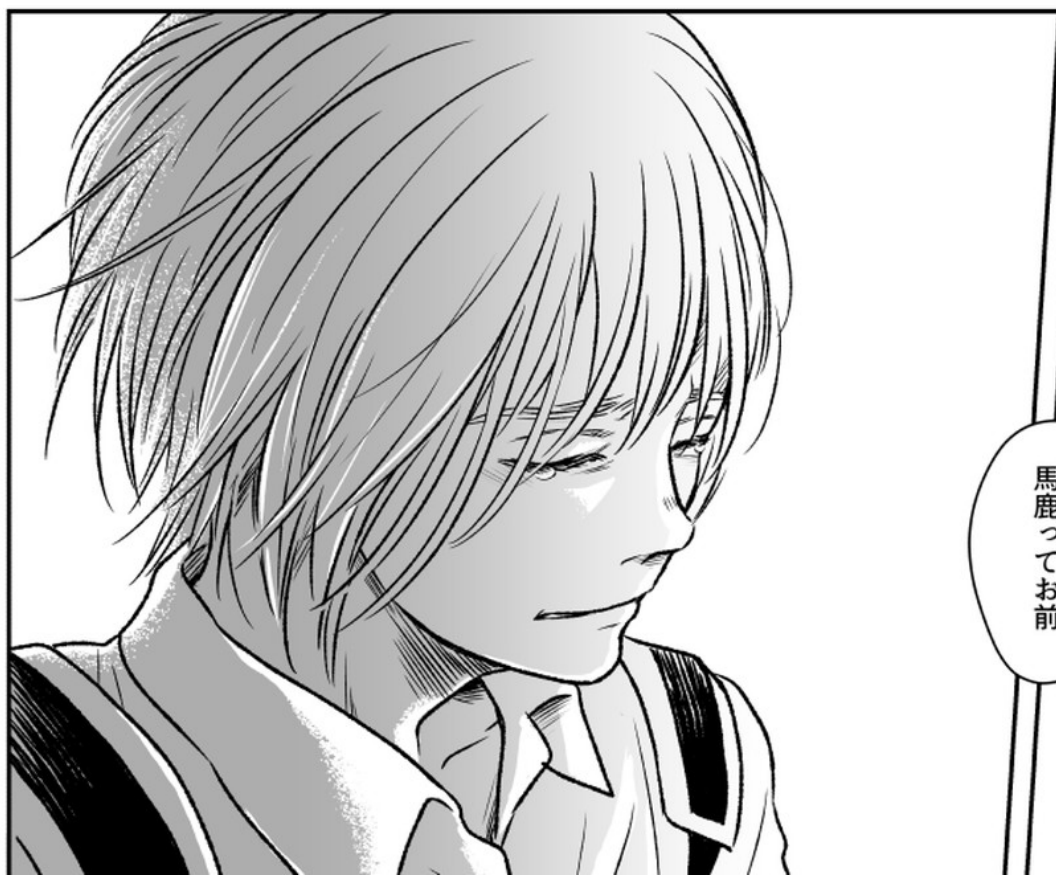
どろがずるいのか
わからない…
何もずるくない

なんで
そうやって…
わざわざ自分を
八方塞がり
に追い込むの…

馬鹿だな…



ずるいままで
勝手にさせて
もらうことにした



馬鹿ってお前

